

2024

2024

試験日：前期 R6. 2. 25
2. 26
後期 R6. 3. 12

令和6年度
(2024年度)

一 般 選 拔

学 生 募 集 要 項



茨城大学
Ibaraki University

※ 本文中にある「各学部，学科・課程等」などの表現には，「地域未来共創学環」も含まれます。

令和6年度の茨城大学入学者選抜（一般選抜）は，この「令和6年度一般選抜学生募集要項」に従って実施します。

○ 茨城大学は，全学部とも分離・分割方式により次の日程で試験を実施します。

	前期日程	後期日程
出願期間	令和6年1月22日(月)～2月2日(金) ※必着	
個別学力検査等実施日	令和6年2月25日(日) ※教育学部の一部のコース・選修等 及び地域未来共創学環のみ 2月26日(月)にも試験を実施	令和6年3月12日(火)
合格者発表日	令和6年3月7日(木)	令和6年3月21日(木)

- 志願者は，「前期日程」で試験を実施する大学・学部等から一つ，「後期日程」で試験を実施する大学・学部等から一つ，合計二つまで出願することができます。
- 茨城大学では，同一学部，異なる学部，学科・課程等を問わず，「前期日程」と「後期日程」に併願することができます。
- 茨城大学では，全ての学部，学科・課程等で2段階選抜は実施しません。
- 茨城大学では，大学入学共通テストの過年度成績は利用しません。
- 理学部（後期日程）および工学部（後期日程）に出願する者は，理学部（数学・情報数理コースを除く）は第2志望コースまで，工学部は第2志望学科まで選択し出願することができます（詳細はp.50～51参照）。
- 茨城大学又は他の国公立大学・学部等（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く）の学校推薦型選抜合格者は，当該学校推薦型選抜を実施した大学・学部等の定める学校推薦型選抜の入学辞退手続きにより入学の辞退を許可された場合を除いて，一般選抜の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。
- 茨城大学又は他の国公立大学・学部等（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く）の総合型選抜合格者は，当該総合型選抜を実施した大学・学部等の定める総合型選抜の入学辞退手続きにより入学を辞退した場合を除いて，一般選抜の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。
- 大学入学共通テスト受験票は，個別学力検査等当日及び入学手続（追加合格の場合を含む）の際に必要ですので，紛失しないよう注意してください。

《不明な点がありましたら，本要項裏表紙に記載の問い合わせ先に問い合わせてください。》

一 目 次

インターネット出願の流れ	1
茨城大学のアドミッション・ポリシー	5
各学部・学科等のアドミッション・ポリシー	5
1. 入学定員（募集人員）	21
2. 出願資格	22
3. 入学者の選抜方法等	23
(1)入学者選抜の実施教科・科目及び配点等	23
(2)個別学力検査等の各教科・科目及び小論文等の出題意図	39
○主体性評価	46
○教育学部実技検査等の課題	47
○工学部の個別学力検査の外国語（英語）における 英語資格・検定試験のみなし得点	49
(3)成績評価及び合否判定	50
(4)理学部（後期日程）及び工学部（後期日程）の第2志望制について	50
(5)「入試過去問題活用宣言」への参加について	51
4. 出願手続	52
5. 試験当日の日程（個別学力検査等）・試験場	61
6. 個別の入学資格審査の申請	65
7. 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除	66
8. 障害等のある入学志願者の事前相談	67
9. 合格者発表	68
10. 追加合格	69
11. 入学手続等	69
12. 情報提供	72
13. 欠員補充第2次募集	73
14. 個人情報の取扱い	73
15. 不正行為・迷惑行為	73
◎令和6年度大学入学共通テスト受験教科・科目確認表〈重要〉	75
◎試験場等案内図	77
(資料)教育学部美術選修「実技資料自己作成証明書」・記入要領 及び「実技資料3点」注意事項	79
(資料)教育学部保健体育選修「運動特技に関する調書」・記入要領	81
入学者選抜に関する問い合わせ先	(裏表紙)

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下のとおりです。

出願登録・検定料・必要書類等の詳細については、必ず学生募集要項本文を確認して、不備のないように出願してください。



事前準備

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨。)
必要書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。



Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/ibaraki-n/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/>

からアクセス



STEP

1

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP2に進んでください。



① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦ 表示された個人情報等を入力
して **次へ** を
クリックしてください。



⑧ 個人情報等を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP 2

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②選抜区分と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ページ対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ページ対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控え**、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はページ対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
×モ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号×モ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ページ対応銀行ATMの場合

お客様番号
×モ(11桁)

確認番号
×モ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ページで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

3



検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

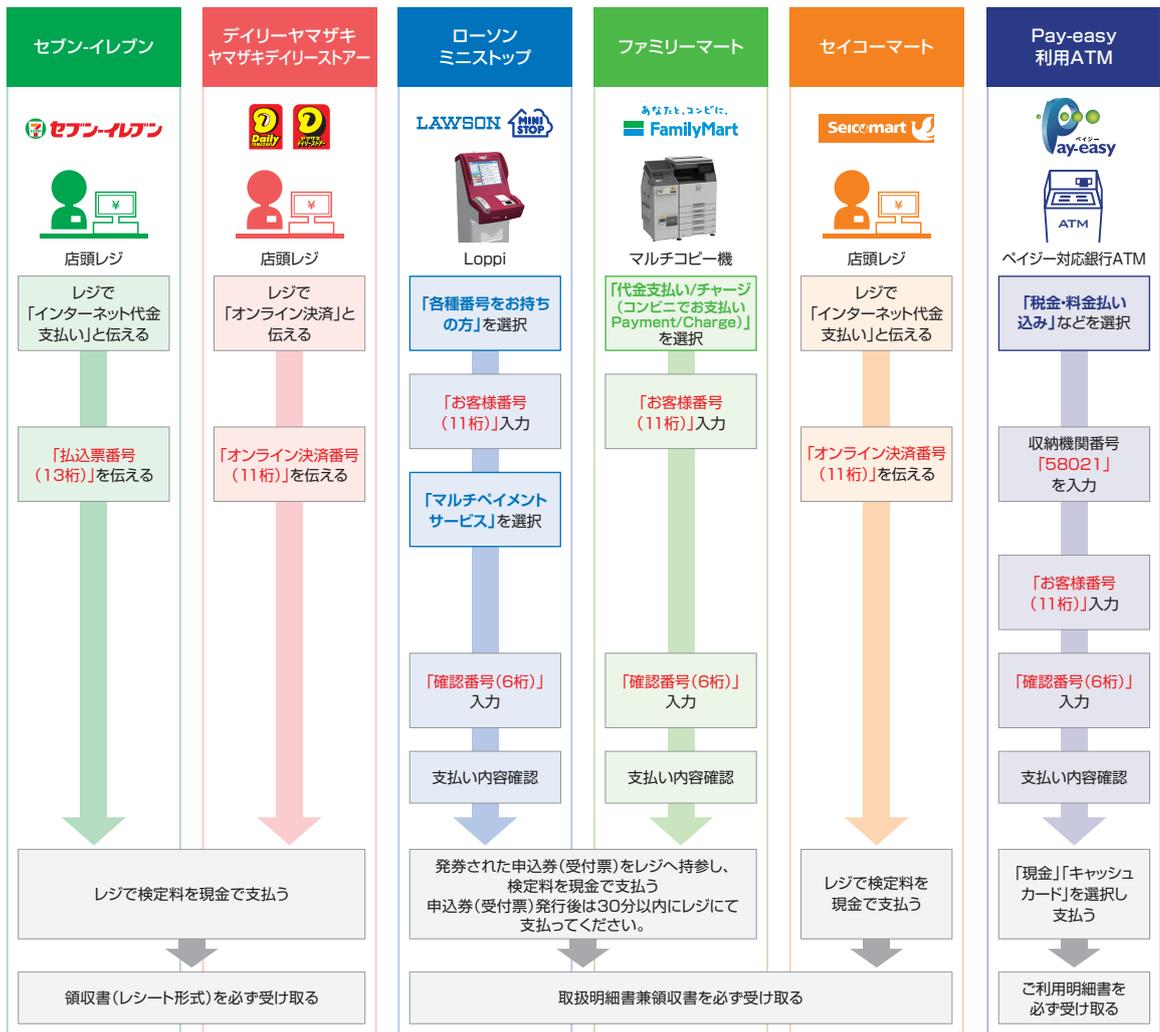
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作し、お支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



STEP

4

必要書類のカラー印刷と郵送

出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類を全てカラー印刷し、その他の必要書類とあわせて、出願期間内に郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

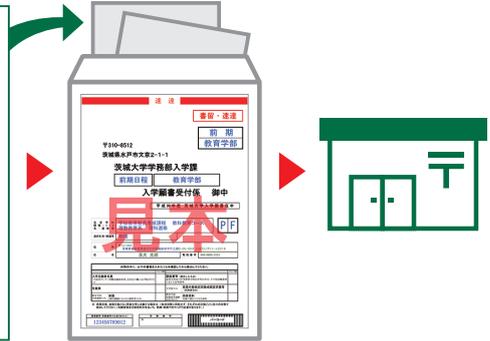
出願に必要な書類は、一般選抜学生募集要項の

p.57～59を参照して準備してください。

<出願締切>

令和6年2月2日（金）必着

※持参の場合は同日16時30分まで



出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒(240mm×332mm)
に貼り付けて作成

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は各学生募集要項を参照してください。

※いったん受理した検定料・必要書類は返却しません。

<出願完了>

出願時の 注意点

「インターネット出願」は、Web上の出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、必要書類を郵送（提出）することで出願完了となります。必要書類を郵送（提出）するまで出願は完了していませんので注意してください。

Web上での出願登録や検定料の支払は24時間可能（ただし、コンビニエンスストア、ATM、施設等の営業時間に準拠します。）ですが、登録締切時刻、支払締切時刻、書類必着締切時刻を募集要項本文でよく確認して、余裕を持った出願を心がけてください。

STEP

5

受験票の印刷

出願期間後に、Web出願サイトから受験票が印刷できるようになります。

マイページからログインして、「受験票・受験者心得(PDF)の表示」ボタンから必ず各自で受験票を印刷し、試験当日に持参してください。

受験票は、令和6年2月9日（金）以降、印刷可能になります。

受験票は本学から郵送されませんので、必ず各自で印刷してください。

※パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が一致していることを必ず確認してください。

茨城大学のアドミッション・ポリシー

茨城大学では、以下の4つの能力と資質を有する多様な志願者に対して、適切な方法の選抜を行って入学者を決定します。なお、それらの内容の詳細は、学部・学科（課程・コース等）毎に異なります。

1. **（知識・技能）** 大学における専門分野の学修に必要な基礎学力を有していること
2. **（知的関心）** 自分の身近な事柄だけでなく、地域の事象、自然環境、国際社会、人間と多様な文化等の広い分野に対する知的関心を有していること
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において他者と共に課題解決をめざした経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

◆各学部・学科等のアドミッション・ポリシー◆

人文社会科学部

[入学者に求める能力・資質]

人文社会科学部では、文系総合学部としての特徴を生かし、主専攻であるメジャーと副専攻であるサブメジャーの複合による学修を通じて、人間の文化と社会活動に関する専門性を持ちながら、世界のさまざまな「地域」で生き生きと働き、活躍できる人材を育成します。

したがって、人文社会科学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 人文社会科学部における専門分野の学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）**
 - ア) 現代における地域・国際社会とメディア、法律と経済、人間と多様な文化などの広い分野についての知的関心
 - イ) 大学での学びを通じてこれらを探究し、自らを高め、成長したいという積極的な意欲
3. **（思考力・判断力・表現力）**
 - ア) さまざまな課題を他者とともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力
 - イ) さまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲

人文社会科学部 現代社会学科

入 学 者 に 求 め る 能 力 ・ 資 質	<p>現代社会学科には「メディア文化メジャー」「国際・地域共創メジャー」があります。そこでは、現代のさまざまなメディアの特質についての学びを通じて表現力・発信力を鍛えるほか、社会学、地理学、政治学、国際学などのアプローチによる国内外の地域課題の調査から、解決策を提案する力を養います。</p> <p>それにより、多様な人々との対話と協働をとらして現代社会におけるさまざまな課題を見だし、地域活性化や文化の創造に携わっていけるような人材を育成します。</p> <p>したがって、現代社会学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p>
	<ol style="list-style-type: none">1. （知識・技能） 現代社会学科における専門分野の学修に必要な基礎学力2. （知的関心）<ol style="list-style-type: none">ア) 現代社会におけるメディア、地域または国際社会についての広い知的関心イ) 現代社会における諸問題を、社会学、地理学、政治学、国際学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲3. （思考力・判断力・表現力）<ol style="list-style-type: none">ア) 現代社会におけるさまざまな課題を他者とともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力イ) 現代社会におけるさまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎4. （主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度） 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲

<p>入学者選抜 において 評価する 能力・成果</p>	<p>1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力 2) 文献・資料の読解のための英語に関する基礎学力 3) 現代社会におけるメディア、地域及び国際社会に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験</p>
<p>評価方法</p>	<p>【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に2) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に2) 及び4) を評価します。</p>

<p>人文社会科学部 法律経済学科</p>	
<p>入学者に 求める能力 ・ 資質</p>	<p>法律経済学科には「法学メジャー」「経済学・経営学メジャー」があります。そこでは、法学、経済学、経営学を中心に関連する学問分野を総合的に学び、生活者や企業の抱えるさまざまな問題に法的アプローチによって対応したり、市場の役割・企業活動の意義を認識し経済政策やマネジメントを構想したりすることにより、地域の持続的発展に貢献できる理論的・実践的な課題解決能力を持つ人材を育成します。 したがって、法律経済学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。 1. （知識・技能）法律経済学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2. （知的関心） ア) 法、行政、経済、経営が果たす社会的な役割についての広い知的関心 イ) 社会における諸問題を、法学、行政学、経済学、経営学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲 3. （思考力・判断力・表現力） ア) 法、行政、経済、経営をめぐるさまざまな課題を他者ととも解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 イ) 法、行政、経済、経営をめぐるさまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4. （主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲</p>
<p>入学者選抜 において 評価する 能力・成果</p>	<p>1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力 2) 文献・資料読解のための英語に関する基礎学力 3) 法、行政、経済、経営が果たす社会的な役割に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験</p>
<p>評価方法</p>	<p>【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に2) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ 個別学力検査等（英語） 主に2) 及び4) を評価します。</p>

人文社会科学部 人間文化学科	
入学者に求める能力・資質	<p>人間文化学科には「文芸・思想メジャー」「歴史・考古学メジャー」「心理・人間科学メジャー」があります。ここでは、人文諸科学の幅広い学びを基礎とし、心やことばの問題をとおして人間の本質を探究するとともに、日本および世界の諸地域の歴史や文化についての理解を深めることにより、人間とその文化の深層を見抜き、よりよい人生、よりよい社会の構想を提案できる力を身に付けた人材を育成します。</p> <p>したがって、人間文化学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (知識・技能) 人間文化学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2. (知的関心) <ul style="list-style-type: none"> ア) 文芸や思想, 日本を含む世界の歴史, 人間の心理や文化についての広い知的関心 イ) 人間文化の諸問題を, 文学, 哲学, 言語学, 史学, 考古学, 心理学, 文化人類学などの手法を通じて自ら発見し, 解決しようとする積極的な意欲 3. (思考力・判断力・表現力) <ul style="list-style-type: none"> ア) 人間文化に関わるさまざまな課題を他者ととも解決していくための基礎的な思考力, 判断力, 表現力 イ) 文芸や思想, 日本を含む世界の歴史, 人間の心理や文化を深く理解するための読解力や分析力, 自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 自主的・主体的に, さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら, 協働して活動する意欲
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 専門分野の学修に必要な国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 外国語に関する基礎学力 2) 文献・資料の読解のための英語に関する基礎学力 3) 文芸や思想, 日本を含む世界の歴史, 人間の心理や文化に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力, 判断力, 表現力 5) これまでの学習や生活において, さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験, あるいは探究活動の経験
評価方法	<p>【一般選抜(前期日程)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ 個別学力検査等(英語) 主に2) 及び4) を評価します。 <p>【一般選抜(後期日程)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。 イ 個別学力検査等(小論文) 主に1), 3) 及び4) を評価します。

教育学部

【入学者に求める能力・資質】

教育学部では、実践的指導力のある教員を養成することをめざしています。私たちを取りまく世界は目まぐるしく変化しています。このような現代の社会にあって、教員に求められていることは、人間・社会・自然についての知的探求心を基礎にした確かな教育的実践力です。教育学部では、十分な専門的知識と子どもの成長や発達に対応した教育的方法を身に付け、さらに教育に関わる幅広い視野をもった、人としての魅力と実力のある教員を養成します。

したがって、教育学部においては、全学のアドミッション・ポリシーで示される4つの能力ないし資質に加え、以下の能力・資質を入学者に求めます。

1. 教員になるための学修に必要な、各教科についての幅広い知識
2. 教育への関心と教員になりたいという強い意欲

さらに、学校教育教員養成課程の各コースでは、学部全体で求める能力・資質に加え、それぞれ以下のような資質・能力を身に付けていることを求めます。

- ・（教育実践科学コース）学校や子どもを巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力
- ・（教科教育コース）各選修の教科についての関心とその内容の探究に必要な思考力・判断力・表現力
- ・（特別支援教育コース）障害のある子どもとその教育を巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力

また、養護教諭養成課程では、学部全体で求める能力・資質に加え、以下のような資質・能力を身に付けていることを求めます。

- ・健康や病気についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力

教育学部 学校教育教員養成課程 教育実践科学コース

入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 学校や子どもを巡る問題の探究に必要な思考力・判断力・表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（小論文） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。</p>

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 国語選修

入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 国語の内容を深め、活用していくための思考力、判断力、言語表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（小論文） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。</p>

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 社会選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 社会科・地理歴史科・公民科の内容についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（小論文） 主に3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 英語と日本語で他者とコミュニケーションする能力と基礎的な英語力 4) 異文化を積極的に理解し学ぼうとする意欲
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 理数教育系 数学選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 数学の内容についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学） 主に3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び3) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 理数教育系 理科選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 理科及び周辺教科の内容についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（理科） 主に3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育系 音楽選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 音楽やその指導・教育を巡る問題についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力 5) 音楽実技の能力
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（実技検査） 主に5) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（実技検査） 主に5) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育系 美術選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 美術及び美術教育を巡る問題についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力 5) 美術実技の能力あるいは活動実績
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（実技資料検査） 主に5) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) , 4) 及び5) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) , 4) 及び5) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育教育系 保健体育選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 保健体育についての関心と、保健体育に関する知識・技能を深めていくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力 5) 体育実技の能力あるいは活動（競技又は指導等）の実績
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（実技検査） 主に5) のうち「全般的な運動実技の能力」を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) 及び4) を評価します。 エ 運動特技に関する調書 主に5) のうち「特定の運動種目における実技能力」を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) , 3) , 4) 及び5) を評価します。 ウ 運動特技に関する調書 主に5) のうち「特定の運動種目における実技能力」を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育系 技術選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 技術科教育についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 生活科学教育系 家庭選修	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 生活科学や家庭科の内容についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（小論文） 主に2) 及び3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 障害のある子どもとその教育を巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（集団活動） 主に4), 同時に2) 及び3) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 同時に3) 及び4) を評価します。

教育学部 養護教諭養成課程	
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 養護教諭になるための学修に必要な、国語、地理歴史及び公民、数学、理科、外国語の基礎学力 2) 子どもと関わること、子どもの発育・発達や健康への関心と養護教諭になりたいという強い意欲 3) 子どもの健康や病気についての基本的な知識とその向上に必要な思考力、判断力、表現力 4) 協働して問題解決に取り組むためのコミュニケーション能力
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（小論文） 主に2) 及び3) を評価します。 ウ 個別学力検査等（プレゼンテーション） 主に2), 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2), 3) 及び4) を評価します。

理学部

【入学者に求める能力・資質】

理学部は、自然科学に関する真理、原理、理論を論理的、かつ、合理的に理解することを目指す学部です。本学部は、1学科6コース制を導入しており、理学科の中に数学・情報数理、物理学、化学、生物科学、地球環境科学、学際理学の6コースがあります。理学部では、各専門分野の学修を通して得られる高い専門知識だけでなく、幅広い知識と能力を身に付けるとともに、柔軟な思考力及び問題解決能力を有する「理学スペシャリスト」として、社会が直面する諸課題に積極的に取り組み、広く社会の発展に貢献することができる人材の育成を目指しています。

したがって理学部入学者には、以下の能力を求めます。

1. (知識・技能) 数学、理科の基礎知識及び論理的思考力を身に付けていること
国語、外国語、地理歴史又は公民の基礎的な知識も有し、論理的な文章を作成できること
2. (知的関心) 自然及び社会に起きている出来事に対する幅広い関心を有していること
3. (思考力・判断力・表現力) これまでの学習と生活において、課題解決をめざして思考力・判断力・表現力を用いた経験がある、あるいはそのような経験をしたいという意欲を有していること
4. (主体性) 自然科学の分野において探究活動を行う意欲と主体性を有していること

理学部 理学科 数学・情報数理コース	
入学者に求める能力・資質	理学科数学・情報数理コースでは、数学を基礎として論理的思考力を養うとともに情報科学の手法も学び、真の分析能力・問題解決能力を持つ人材の育成を目指しています。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、特に数学Ⅲまでの内容をしっかり学んでいることを求めます。表面的な解法パターンを覚えるのではなく、なぜそうなるかを粘り強く考え、その上で他の人に数式を用いて説明できる力を養うことが大切です。このような努力を積むことで数学自体の理解が自然に深まると考えています。
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 数学Ⅲまでの内容の理解度と数式を用いて説明する能力 3) 数学・情報数理に対する関心の深さ、思考力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、数学や理科に関する課題研究などの経験
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学） 主に2) 及び3) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学） 主に2) 及び3) を評価します。

理学部 理学科 物理学コース	
入学者に求める能力・資質	物理学は、物質の性質をはじめ、物質のミクロな根源である素粒子からマクロな宇宙まで、幅広い対象を扱います。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、これらを深く学ぶ際の原動力となる、自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考能力を、様々な教科を通じて育てることを求めます。また、物理学は、物理現象の定式化とその検証による精密化を通じて発展してきた積み上げ型の学問です。その修得には、目の前の困難に向き合ってねばり強く取り組む姿勢が必要です。
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 物理学の基本的知識、基礎的素養及び数学的思考力 3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考能力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験

評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（数学，理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（総合） 主に2) 及び3) を評価します。</p>
------	---

理学部 理学科 化学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>化学は、原子・分子・化合物など、物質を通して自然現象の理解とその応用を行う学問です。化学コースでは、種々の物質の構造、反応、性質及び自然界における循環などのしくみを化学的に理解し、化学の知識と技術を活かして社会に貢献する意欲を有することを求めます。</p> <p>したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、理系科目全般を学び、自然現象に対する論理的思考力と知的好奇心を育てていることを求めます。化学については基本的な概念や原理を理解し、化学の法則に従って観測される現象を説明できることが求められます。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<p>1) 国語，地理歴史又は公民，数学，理科，外国語に関する基礎学力。特に，数学，理科を重視します。</p> <p>2) 化学の基本的知識と思考力</p> <p>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力，判断力，表現力</p> <p>4) コースでの学修意欲，大学での学修に必要なコミュニケーション能力，理科や数学に関する課題研究などの経験</p>
評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p>

理学部 理学科 生物科学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>今日，社会のいたる所で生物学に関する知識と思考力が求められています。生物科学コースでは，さまざまな生命現象や生物の多様性への強い興味と関心，それらに関する未知の課題に積極的に取り組む姿勢を求めています。また，柔軟な思考力をもち，科学技術や社会の発展に貢献する意欲を有することを求めます。</p> <p>したがって，入学者には特に，大学での学修に必要な基礎学力と論理的思考力を備えていることを求めます。「生物基礎」の全ての範囲及び「物理」，「化学」，「生物」のいずれかの科目を学び，理学分野の基礎を確実に身に付けていることが必要です。また，論理的思考及びコミュニケーションのために必要な言語力を身に付けていることを求めます。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<p>1) 国語，地理歴史又は公民，数学，理科，外国語に関する基礎学力。特に，数学，理科を重視します。</p> <p>2) 理科の基本的知識と思考力</p> <p>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力，判断力，表現力</p> <p>4) コースでの学修意欲，大学での学修に必要なコミュニケーション能力。理科や数学に関する課題研究などの経験</p>
評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（総合・理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p>

理学部 理学科 地球環境科学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>理学科地球環境科学コースでは、地球及び太陽系の起源・歴史やそこで生じる様々な現象に加え、社会に直接関係するグローバル及び地域的な環境問題や様々な自然災害などについて学び、研究します。</p> <p>したがって、入学者には特に、地球・太陽系における様々な現象や環境問題・自然災害に対する強い興味・関心、自ら学んでいく意欲及びそれを理解するために必要となる基礎学力を求めます。さらに、地球環境科学の課題に取り組むためには、論理的思考力・判断力及び広い視野が必要です。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<p>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。</p> <p>2) 理科の基本的知識と思考力</p> <p>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力</p> <p>4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験</p>
評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（総合・理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p>

理学部 理学科 学際理学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>自然界の様々な現象は、物理・化学・生物・地学・数学という基本的な学問分野に留まらず、それらの分野の間に横断的に広がっています。学際理学コースでは、複数分野の基礎を体系的に学ぶことにより、学際的視点を獲得し、自然界の様々な現象に果敢に挑戦できる能力の育成を目指しています。</p> <p>したがって、入学者には、幅広い自然科学現象、特に学際性の高い科学領域に関する強い興味・関心、自ら学んでいく意欲及びそれを理解するために必要となる基礎学力が求められます。さらに、科学的な課題に取り組むためには、論理的な思考力・判断力及び広い視野が必要です。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<p>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。</p> <p>2) 理科の基本的知識と思考力</p> <p>3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力</p> <p>4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験</p>
評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) 及び2) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（総合・理科） 主に2) 及び3) を評価します。</p>

工学部

【入学者に求める能力・資質】

工学部では、世界的視野で未来に向かってはばたく科学技術を創造する拠点として絶えず前進しながら、工学系専門技術者として、人々と協働して課題解決をめざし、社会の持続的な発展に貢献し、地域の活性化に自ら進んで取り組む、高度科学技術を実践する人材を育成しています。

したがって、工学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 工学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）** 工学及びその周辺分野における地域から地球に至るまでの様々な規模での社会の課題に対する幅広い知的関心
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において、工学について他者と共に課題解決をめざした経験及びそのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいはそれらを身に付けたいという意欲
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、工学に関して多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験、あるいはそのような活動をしたという意欲

上記でいう工学には、数学・理科・情報などの工学の基礎も含まれます。

工学部 機械システム工学科

入学者に求める能力・資質	<p>機械システム工学は従来の機械工学と情報工学の高度な融合により、自動車・鉄道などの交通機械や火力・風力・水力・原子力発電システムなどの社会インフラを支えるエネルギー機械、人工知能・ロボット・医療機器・介護機器などの人の活動を支援する機械、これらの機械を作り出すための材料加工や設計・製造システムなど、わたしたちの生活に役立つ最先端の機械システム技術を創造する学問です。機械システム工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での機械システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って機械システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 機械システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたという意欲
評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（数学、理科、英語） 主に3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（数学、英語） 主に3) を評価します。</p>

工学部 電気電子システム工学科

入学者に求める能力・資質	<p>電気電子システム工学は、目に見えない電子や電磁波を高度にコントロールして、電子デバイスや電気機器の開発・設計、電力や情報の創生・伝送・蓄積・制御などに応用する学問分野です。電気電子システム工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での電気電子システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って電気電子システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
--------------	--

入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 国語, 地理歴史又は公民, 数学, 理科, 英語の基礎学力。特に数学, 理科, 英語を重視します。 2) 電気電子システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験, あるいはそのような活動をしたという意欲
評価方法	【一般選抜(前期日程)】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等(数学, 理科, 英語) 主に3) を評価します。 【一般選抜(後期日程)】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等(数学, 英語) 主に3) を評価します。

工学部 物質科学工学科	
入学者に 求める能力 ・ 資質	物質科学工学科では, 金属, 有機・無機物質, セラミックス, 半導体, 高分子, 医薬, 農薬, 生体物質, 生体材料, 医用材料など多岐にわたる物質の構造と機能を原子・分子レベルで理解することで, 新しい物質や材料の設計・製造およびハイブリッド化への応用を可能にし, 世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。 したがって, 大学での物質科学工学分野の学修を行うための基礎学力, 特に十分な数学, 理科, 英語の学力を持ち, 主体性を持って物質科学工学に関する問題を発見し, 解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力, 協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 国語, 地理歴史又は公民, 数学, 理科, 英語の基礎学力。特に数学, 理科, 英語を重視します。 2) 物質科学工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験, あるいはそのような活動をしたという意欲
評価方法	【一般選抜(前期日程)】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等(数学, 理科, 英語) 主に3) を評価します。 【一般選抜(後期日程)】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等(数学, 英語) 主に3) を評価します。

工学部 情報工学科	
入学者に 求める能力 ・ 資質	コンピュータとインターネットは流通・金融・製造など社会のさまざまな分野で必要不可欠であり, これらを合理的に扱うためにソフトウェアが必要です。情報工学は, 情報の発生・伝達・収集・蓄積・処理を扱い, 情報を体系的に管理する総合的な学問です。情報工学科では, 世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。 したがって, 大学での情報工学分野の学修を行うための基礎学力, 特に十分な数学, 理科, 英語の学力を持ち, 主体性を持って情報工学に関する問題を発見し, 解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力, 協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。
入学者選抜 において 評価する 能力・成果	1) 国語, 地理歴史又は公民, 数学, 理科, 英語の基礎学力。特に数学, 理科, 英語を重視します。 2) 情報工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験, あるいはそのような活動をしたという意欲
評価方法	【一般選抜(前期日程)】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等(数学, 理科, 英語) 主に3) を評価します。 【一般選抜(後期日程)】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等(数学, 英語) 主に3) を評価します。

工学部 都市システム工学科	
入学者に求める能力・資質	<p>理想の都市は「安全」で「環境」に優しく「快適」な空間であることが望まれます。都市システム工学科では、この「安全」「環境」「快適」の3要素をシステムとして扱うため、土木工学、環境工学、建築学および都市計画学などを学修します。そして、地域から世界まで幅広い分野で活躍できる技術者の育成を目指した教育を行います。</p> <p>したがって、大学での都市システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って都市システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<p>1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。</p> <p>2) 都市システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲</p> <p>3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力</p> <p>4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたという意欲</p>
評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（数学、理科、英語） 主に3) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（数学、英語） 主に3) を評価します。</p>

農学部

[入学者に求める能力・資質]

農学部では、グローバル社会における農業・食料問題を理解して、国際的な視点から食料・食品の高度化、農業を核とした新産業の創出に主体的かつ意欲的に取り組み、地域の農業と地域コミュニティの活性化を支える実務型農学系人材を育成します。

したがって、農学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. (知識・技能) 農学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
2. (知的関心) 農学及びその周辺分野のみならず、社会の課題全般に対する幅広い知的関心
3. (思考力・判断力・表現力) これまでの学習と生活において、農業、環境、食料の課題について他者と共に課題解決を目指した経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) これまでの学習と生活において、農業体験やボランティア活動などに参加し、世代や国籍を超えた多様な人々と協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

農学部 食生命科学科	
入学者に求める能力・資質	<p>食生命科学科では、生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識や技能を修得し、食料・食品分野で国際的に活躍できる人材を育成します。</p> <p>したがって、食品科学と生命機能を学ぶ基礎学力を持ち、農業、環境、食料についての課題を理解し、主体性を持って解決へ導く意欲を持つ学生を求めます。国内外の多様な人々と協働しながらグローバルな視点で課題を探究する場もありますので、自分の考え方を整理して伝える力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な生物・化学、英語における十分な学力 3) 安全な食の実現と生命機能の解明に対する関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題と向き合う協働体験や意欲
評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科、英語） 主に2) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（英語） 主に生物、化学を除く2) を評価します。</p>

農学部 地域総合農学科 農業科学コース	
入学者に求める能力・資質	<p>地域総合農学科農業科学コースでは、農作物の栽培や品種改良、病気や害虫の防除に関する知識や技能を主に修得し、農産物の国際競争力の強化や高品質・高付加価値生産などに対応した、新しい時代の農業技術の発展に貢献する人材を育成します。</p> <p>したがって、生物学を中心とした「農学」の幅広い基礎学力・興味を持ち、地域の発展や農業の国際化に、主体的に取り組む意欲を持った学生を求めています。世代や国境を超え人々と議論しながらの実践的な学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な生物又は化学、英語における十分な学力 3) 地域の発展に貢献する新しい時代の農業技術に対する関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題に向き合う協働体験や意欲

評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科，英語） 主に2) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（英語） 主に生物，化学を除く2) を評価します。</p>
------	--

農学部 地域総合農学科 地域共生コース	
入学者に求める能力・資質	<p>地域総合農学科地域共生コースでは，美しい農村の景観をまもり，地域・農産物のブランド力を高め，災害に強い地域をデザインする技術や政策に関する知識・技能を修得し，豊かな地域の未来を創造できる人材を育成します。</p> <p>したがって，理系科目，文系科目を問わない幅広い基礎学力・興味を持ち，未来に向けた地域づくりと，世界に羽ばたく農業の実現に意欲を持つグローバル志向の学生を求めます。世代や国境を超えた人々と議論や協働をおこなう学びもありますので，自分の考えを伝える表現力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語，地理歴史，公民，数学，理科，英語の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な物理又は化学又は生物，英語における十分な学力 3) 地域の発展に貢献する技術や政策に対する幅広い関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題に向き合う協働体験や意欲
評価方法	<p>【一般選抜（前期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（理科，英語） 主に2) を評価します。</p> <p>【一般選抜（後期日程）】</p> <p>ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。</p> <p>イ 個別学力検査等（英語） 主に物理，化学，生物を除く2) を評価します。</p>

地域未来共創学環

【入学者に求める能力・資質】

地域未来共創学環では、ビジネスとデータサイエンスを中心とした分野・文理横断の学びから、地域課題の解決や、新たな価値創出に挑戦する実践的な人材を育成します。

したがって、地域未来共創学環において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 地域未来共創学環における分野・文理横断的な学修に必要な基礎学力を有していること
2. **（知的関心）** 社会や地域における様々な課題の背景や解決に対する知的関心を有していること
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において、多様な人々と共に課題解決をめざした経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを積極的に行い、地域課題の解決を意識して主体的に活動した経験があること、あるいは地域課題の解決に向けて探究する意欲を有していること

地域未来共創学環

入学者選抜において評価する能力・成果	1) 分野・文理横断的な学修に必要な国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語の基礎学力 2) 社会や地域における様々な課題の背景や解決に対する関心と学修意欲 3) 多様な人々と協働して地域課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力，あるいは，それらを身に付ける意欲 4) 多様な人々と協働するために必要なコミュニケーション能力と，地域課題の解決を意識して主体的に活動した経験，あるいは地域課題の解決に向けて探究する意欲
評価方法	【一般選抜（前期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（数学又は英語） 主に1) の一部を評価します。 ウ 個別学力検査等（面接） 主に2) ， 3) 及び4) を評価します。 【一般選抜（後期日程）】 ア 大学入学共通テスト 主に1) を評価します。 イ 個別学力検査等（面接） 主に2) ， 3) 及び4) を評価します。

1. 入学定員（募集人員）

（単位：人）

学部	学科・課程等		入学定員	募 集 人 員							
				一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜	帰国生徒選抜	私費外国人留学生選抜	
				前期日程	後期日程	一般推薦	専門高校推薦				
科 文 学 社 会 部	現代社会科学科		130	65	40	25				若干名	
	法律経済学科		120	65	35	20				若干名	
	人間文化学科		110	65	25	20				若干名	
	計		360	195	100	65					
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	教育実践科学コース		26	13	6	7				
		教 科	言語・社会教育系	国語選修	26	17	5	4			
				社会選修	23	13	5	5			
				英語選修	16	10	3	3			若干名
		教 育	理数教育系	数学選修	31	22	5	4			
				理科選修	24	17	4	3			
		コ ー ス	音楽教育系	音楽選修	13	6	4	3			
			美術教育系	美術選修	12	6	3	3			
			保健体育教育系	保健体育選修	18	9	6	3			
		特 別 支 援 教 育 コ ー ス	技術教育系	技術選修	17	9	5	3	若干名		
	生活科学教育系			家庭選修	14	8	3	3			
	特別支援教育コース		20	12	5	3					
	小計		240	142	54	44					
養護教諭養成課程		35	17	10	8				若干名		
計		275	159	64	52						
理 学 部	理学科	数学・情報数理コース		205	15	14	6			若干名	
		物理学コース			19	10	5			若干名	
		化学コース			19	10			5	若干名	
		生物科学コース			19	10			5	若干名	
		地球環境科学コース			19	10			5	若干名	
		学際理学コース			19	10			5	若干名	
計		205	110	64	11		20				
工 学 部	機械システム工学科		130	70	46	14	若干名			若干名	
	電気電子システム工学科		125	68	46	11	若干名			若干名	
	物質科学工学科		110	60	40	10	若干名			若干名	
	情報工学科		80	45	30	5	若干名			若干名	
	都市システム工学科		60	30	17	8	若干名	5		若干名	
計		505	273	179	48		5				
農 学 部	食生命科学科		80	50	18	12	若干名		若干名	若干名	
	地域総合農学科	農業科学コース	80	24	10	6	2		若干名	若干名	
		地域共生コース		32		6	若干名				
計		160	106	28	24	2					
地域未来共創学環		40	24	¹² (数) ₁₂ (外)	7			9			
合計		1,545	867	442	200	2	34				

（備考）

1. 学校推薦型選抜並びに理学部及び地域未来共創学環の総合型選抜において入学手続きが募集人員（若干名は除く）に満たなかった場合は、一般選抜前期日程の合格者で補充します。
2. 工学部の総合型選抜において入学手続きが募集人員に満たなかった場合は、一般選抜後期日程の合格者で補充します。
3. 地域未来共創学環の一般選抜前期日程は個別学力検査で選択する教科で選抜区分を設け、募集人員（24人）の内訳を数学選択者（12人）、外国語（英語）選択者（12人）とします。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和6年度大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が指定した教科・科目（p.23～38参照）をすべて受験した者としてします。

なお、本学が指定した教科・科目を一つでも受験しなかった者は無資格者となり、本学に出願することはできませんので注意してください。

- (1) 高等学校又は中等教育学校（以下、「高等学校等」という）を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和6年3月31日までに合格見込みの者（同規則附則の規定による廃止前の大学入学資格検定規程により大学入学資格検定に合格した者を含む）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和6年3月31日までに18歳に達するもの

※上記出願資格（8）で出願する者は、本学における個別入学資格審査が必要となりますので、p.65を参照してください。

3. 入学者の選抜方法等

(1) 入学者選抜の実施教科・科目及び配点等

本学の一般選抜において各学部，学科・課程等が課す大学入学共通テスト及び個別学力検査等の実施教科・科目及び配点を，p.26以降に示します。

なお，表を参照する際には以下の点に注意してください。

【大学入学共通テストに関する注意事項】

○全学部共通注意事項

地理歴史，公民

- 1) 「地理歴史，公民」からは，最大2科目を選択し受験可能ですが，以下のような「同一名称を含む科目同士」の選択はできません。

〔「世界史A」と「世界史B」，「日本史A」と「日本史B」，「地理A」と「地理B」，
「倫理」と「倫理，政治・経済」，「政治・経済」と「倫理，政治・経済」〕

- 2) 「地理歴史，公民」において2科目を受験する場合，試験時間130分（うち解答時間120分）の前半に受験した科目を“第1解答科目”，後半に受験した科目を“第2解答科目”とします。
- 3) 「地理歴史，公民」で1科目のみに配点する学部，学科・課程等において，2科目を受験した場合は，“第1解答科目”として受験した科目の成績を利用します。

数学

- 1) 「数学」において「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は，専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校等においてこれらの科目を履修した者（見込みを含む）及び専修学校の高等課程の修了者（見込みを含む）に限ります。
- 2) 「数学」において，学部，学科・課程等が指定する科目数を超えて受験した場合には，高得点科目の成績を利用します。

理科

- 1) 「理科」において，「理科①」，「理科②」とは，以下の科目を指します。

〔理科①：「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」〕
〔理科②：「物理」，「化学」，「生物」，「地学」〕

- 2) 「理科」において，「同一名称を含む科目同士」とは，以下の組み合わせをいいます。

〔「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，
「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」〕

- 3) 「理科①」を選択した場合は選択した2つの科目の合計得点を利用します。
- 4) 「理科②」において2科目を受験する場合，試験時間130分（うち解答時間120分）の前半に受験した科目を“第1解答科目”，後半に受験した科目を“第2解答科目”とします。

外国語（英語）

- 1) 「外国語」の「英語」には，その一領域として実施される「リスニング」を含みます。ただし，リスニングを免除された者については，リーディングの100点のみを学部，学科・課程等が指定する配点に換算します。
- 2) 「外国語」の「英語」の配点は，まず，リーディング（100点）を200点に，リスニング（100点）を50点に換算し（合計250点），それを学部，学科・課程等が指定する配点に換算します。

○人文社会科学部注意事項

地理歴史，公民

- 1) 現代社会学科の前期日程において，「地理歴史，公民」で少なくとも1科目は「世界史A」，「世界史B」，「日本史A」，「日本史B」，「地理A」，「地理B」のいずれかを選択していないと出願することはできません。
- 2) 法律経済学科の前期日程において，「地理歴史，公民」で少なくとも1科目は「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「倫理，政治・経済」のいずれかを選択していないと出願することはできません。
- 3) 人間文化学科の前期日程において，「地理歴史，公民」で少なくとも1科目は「世界史B」，「日本史B」，「地理B」のいずれかを選択していないと出願することはできません。
- 4) 法律経済学科及び人間文化学科の後期日程において，「地理歴史，公民」で2科目を選択する場合は「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「現代社会」，「倫理」，「政治・経済」，「倫理，政治・経済」のいずれかを“第1解答科目”として選択していないと出願することはできません。

数学及び理科

- 1) 現代社会学科及び法律経済学科の前期日程において、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は、「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点の成績のみが有効となるため、「数学」を2科目選択する必要があります。
- 2) 現代社会学科及び法律経済学科の前期日程において、「数学」及び「理科」で学科が指定する科目数を超えて選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数			合否判定に利用する成績
数学	理科①	理科②	
2	—	2	・数学の高得点科目の成績 ・理科②の第1解答科目の成績 ・数学の低得点科目と理科②の第2解答科目のうち、高得点の成績
2	2	1	・数学の高得点科目の成績 ・理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点の成績 ・数学の低得点科目と理科の低得点の成績のうち、高得点の成績 ※ 理科において同一名称を含む科目同士を選択した場合、成績は以下のとおり利用します。 ・数学2科目の成績 ・理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点の成績

- 3) 人間文化学科の前期日程並びに全学科の後期日程において、「理科」で学科が指定する科目数を超えて選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数		合否判定に利用する成績
理科①	理科②	
2	1	理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点の成績
—	2	理科②の第1解答科目の成績

外国語

全学科の前期日程及び後期日程において、「外国語」の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」及び「韓国語」のいずれかを受験した場合の配点は、筆記の200点のみを学科が指定する配点に換算します。

○教育学部注意事項

数学及び理科

- 1) 数学選修及び理科選修の前期日程において、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は、「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点の成績のみが有効となるため、「数学」を2科目選択する必要があります。
- 2) 数学選修及び理科選修の前期日程において、「数学」及び「理科」で各選修が指定する科目数を超えて選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数			合否判定に利用する成績
数学	理科①	理科②	
2	—	2	・数学の高得点科目の成績 ・理科②の第1解答科目の成績 ・数学の低得点科目と理科②の第2解答科目のうち高得点の成績
2	2	1	・数学の高得点科目の成績 ・理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点の成績 ・数学の低得点科目と理科の低得点の成績のうち、高得点の成績 ※ 理科において同一名称を含む科目同士を選択した場合、成績は以下のとおり利用します。 ・数学2科目の成績 ・理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点の成績

- 3) 理科選修の後期日程において、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択することはできません。
- 4) 数学選修の前期日程及び理科選修の前期・後期日程以外の課程・コース・選修の前期日程及び後期日程において、「理科」で指定された科目数を超えて選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数		合否判定に利用する成績
理科①	理科②	
2	1	理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち、高得点の成績
—	2	理科②の第1解答科目の成績

外国語

全課程・コース・選修の前期日程及び後期日程において、「外国語」の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」及び「韓国語」のいずれかを受験した場合の配点は、筆記の200点のみを課程・コース等が指定する配点に換算します。

○理学部注意事項

理科

全コースの前期日程及び後期日程において、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

外国語

全コースの前期日程及び後期日程において、「外国語」の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」及び「韓国語」のいずれかを受験した場合の配点は、筆記の200点のみを学科・コース等が指定する配点に換算します。

○工学部注意事項

地理歴史，公民

全学科の前期日程及び後期日程において、「地理歴史，公民」で2科目を選択する場合は「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理，政治・経済」のいずれかを“第1解答科目”として選択していないと出願することはできません。

理科

- 1) 全学科の前期日程及び後期日程において、「理科」で「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を選択することはできません。
- 2) 機械システム工学科，電気電子システム工学科，都市システム工学科は、「理科」で理科②の「物理」を選択していないと出願することはできません。

○農学部注意事項

地域総合農学科地域共生コースのパターン①は文系選択科目，パターン②は理系選択科目を表し，いずれかを出願時に選択します。

地理歴史，公民

食生命科学科，地域総合農学科農業科学コース及び地域共生コース（パターン②）で出願する者「地理歴史，公民」で2科目を選択する場合は「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理，政治・経済」のいずれかを“第1解答科目”として選択していないと出願することはできません。

理科

地域総合農学科地域共生コース（パターン①）で出願する者「理科」で指定された科目数を超過して選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数		合否判定に利用する成績
理科①	理科②	
2	1	理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち，高得点の成績
—	2	理科②の第1解答科目の成績

○地域未来共創学環注意事項

地理歴史，公民及び理科

前期日程及び後期日程において、「地理歴史，公民」と「理科」をそれぞれ1科目以上（理科①は2科目で1科目として扱う），合計3科目の成績を利用します。3科目を超過して選択した際の成績は以下のとおり利用します。

受験者が選択した科目数			合否判定に利用する成績
地理歴史，公民	理科①	理科②	
2	—	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理歴史，公民」の第1解答科目の成績 ・理科②の第1解答科目の成績 ・「地理歴史，公民」と理科②の第2解答科目のうち，高得点の成績
2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理歴史，公民」の第1解答科目の成績 ・「地理歴史，公民」の第2解答科目，理科①2科目，理科②1科目のうち，高得点の2つの成績 <p>※ 理科において同一名称を含む科目同士を選択した場合，成績は以下のとおり利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地理歴史，公民」2科目の成績 ・理科①2科目の合計得点と理科②1科目の得点のうち，高得点の成績

外国語

前期日程及び後期日程において、「外国語」の「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」及び「韓国語」のいずれかを受験した場合の配点は、筆記の200点のみを利用します。

【個別学力検査等について】

各学部，学科・課程等が課す個別学力検査等の出題意図等については，p. 39～45に示します。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
		日	科目名	科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	小論文	主体性	配点合計
人文社会科学部	現代社会科学	前期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※2	150※4		300		300			1050
		後期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※2	150※4		300		300			1050
		前期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※2	150※4		300		300			1050
		後期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※2	150※4		300		300			1050
		前期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※2	150※4		300		300			1050
		後期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※2	150※4		300		300			1050
	法律経済学科	前期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※3	150※4		300		300			1050
		後期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※3	150※4		300		300			1050
		前期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※3	150※4		300		300			1050
		後期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※3	150※4		300		300			1050
		前期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※3	150※4		300		300			1050
		後期	国	1	本学が読す科目数及び科目選択の方法等	外国語	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	300	※3	150※4		300		300			1050

※1 人文社会科学部法経経済学科(後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史、公民」で2科目を受験した場合は、「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理」「政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択しないと出願することはできません。

※2 配点は、2科目のうちいずれか高い得点を2倍して、合計300(200+100)点とします。

※3 配点は、地理歴史と公民のいずれか高い得点を2倍して、合計300(200+100)点とします。

※4 配点は、次のとおりとします。また、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は、「理科②2科目の合計得点」と「理科①1科目の得点」のうち高得点科目の成績のみが有効となるため、「数学」を2科目選択する必要があります。

【2教科3科目(数学から1科目と理科②から2科目又は数学から1科目と理科②から1科目)選択の場合】：150(50+50+50)点

【2教科4科目(数学から1科目と理科①から1科目及び理科②から1科目)選択の場合】：150(50+25+25+50)点

【2教科4科目(数学から2科目と理科①から2科目)選択の場合】：150(50+50+25+25)点

※5 配点は、理科①から2科目選択の場合は100(50+50)点、理科②から1科目選択の場合は100点とします。

p.23～25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
		教科	科目名	科目数	科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	小論文	主体性	配点合計				
人文社会科学部	人間文化学科	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	ただし、世B, 日B, 地理Bのうち、少なくとも1科目を含むこと。	外国語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	大学入学共通テスト 個別学力検査 計	300	300(《200》+100) ※2	50	50	100※3	300					1100					
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2																			
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1																			
		数	①数Ⅰ・数A ②数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報	から1	計2科目																		
		理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2]又は[理②から1]																			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																			
		国	世B, 日B, 地理B	1	[5教科7科目又は8科目]又は[6教科7科目又は8科目]																		
		地歴	世B, 日B, 地理B	から1	(2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します※1)																		
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1																			
		数	①数Ⅰ・数A ②数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報	から1																			
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2]又は[理②から1]																					
外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																					
		国	世B, 日B, 地理B	1	[5教科5科目又は6科目]																		
		地歴	世B, 日B, 地理B	から1	(2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します※1)																		
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1																			
		数	①数Ⅰ・数A ②数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報	から1																			
		理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2]又は[理②から1]																			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																			

※1 人文社会科学部人間文化学科(後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史, 公民」で2科目を受験した場合は、「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理」「政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していないと出願することはできません。

※2 配点は、2科目のうちいずれか高い得点を2倍して、合計300(200+100)点とします。

※3 配点は、理科①から2科目選択の場合は100(50+50)点、理科②から1科目選択の場合は100点とします。

p.23~25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等						配点合計							
		科目名	科目数	科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語		小論文	面接	「ポートフォリオ」	運動・特長に関する調査	集団活動		
教育学部	教育実習科 教育実践科 教育学コース 教育養成課程	国	1		その他		大学入学共通テスト	200	50	50	100	100×2	200		200						700		
		国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1		小論文 面接		個別学力検査							200							300	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1				計	200	50	50	100	100	200	200	200						1000	
		数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1		その他		大学入学共通テスト	200	50	50	100	100×2	200		200						700	
		理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2]又は[理②から1]		その他		計	200	50	50	100	100	200	200	200						900	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	[6教科6科目又は7科目]		小論文 面接		大学入学共通テスト	200	100	100	100×2	200		300	300	100	100				800
	教育学部	言語・社会教育系	国	1		その他		大学入学共通テスト	200	100	100	100	100×2	200		200						900	
			国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1		小論文 面接		個別学力検査							200							800
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1				計	200	100	100	100	100	200	200	200						300
			数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1		その他		大学入学共通テスト	200	100	100	100	100×2	200		200						1100
			理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2]又は[理②から1]		その他		計	200	100	100	100	100	200	200	200						800
			外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	[5教科6科目又は7科目]		面接		大学入学共通テスト	200	100	100	100	100	200	200	100	100				
教育学部	理数教育系	国	1		数学※1 その他		大学入学共通テスト	200	100	100	300×3	200										800	
		国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1		数I, 数II, 数A, 数B 面接		個別学力検査							200							400	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1				計	200	100	100	600	200		200							1200	
		数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1		その他		大学入学共通テスト	200	100	100	100×2	200		200							900	
		理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2]又は[理②から1]		その他		計	200	100	100	100	100	400	400	200	200					1000	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	[5教科6科目又は7科目]		面接		大学入学共通テスト	200	100	100	100	400	400	200	200						1200
	教育学部	理数教育系	国	1		その他		大学入学共通テスト	200	100	100	300	100×2	200									800
			国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1		面接		個別学力検査							200							400
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1				計	200	100	100	600	200		200							1200
			数	①数I・数A ②数II・数B	計2科目		その他		大学入学共通テスト	200	100	100	600	100		200							1300
			理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2] 又は [理②から1]				計	200	100	100	100	100	200	200	200						1000
			外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	[5教科6科目又は7科目]		面接		大学入学共通テスト	200	100	100	100	400	400	200	200					

※1 教育学部学校教育養成課程教科教育コース理数教育系数学選択（前期日程）の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B（数列、ベクトル）】

※2 配点は、理科①から2科目選択の場合は100(50+50)点、理科②から1科目選択の場合は100点とします。

※3 配点は、次のとおりとします。また、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は、「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点科目の成績のみが有効となるため、「数学」を2科目選択する必要があります。

【2教科3科目(数学から1科目かつ理科②から2科目又は数学から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合】：300(100+100+100)点

【2教科4科目(数学から1科目かつ理科①から2科目及び理科②から1科目)選択の場合】：300(100+50+50+100)点

【2教科4科目(数学から2科目かつ理科①から2科目)選択の場合】：300(100+100+50+50)点

p.23～25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等						面接	アビリティ	運動特技に関する調査	集団活動	配点合計	
		教科	科目名	科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①						理科②
教育学部	学校教育課程系	前期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	本学が課す科目数及び科目選択の方法等 (2)科目受験した場合は、第1解答科目を利用します) [数①から1]かつ[理①から2]、[理②から1] [数②から1]かつ[理②から2] [数③から2]かつ[理②から1] [数④から2]かつ[理②から1]	理科※1	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 地(地学基礎, 地学)	200	100	300※2	200	200	200	200	200	800		
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1														
			数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1														
		後期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	(2)科目受験した場合は、第1解答科目を利用します) [理①から2]かつ[理②から1] [理②から2]	その他	200	100	200	400※3	200	200	200	200	1100			
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1															
		数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1															
	音楽教育課程系	前期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	(2)科目受験した場合は、第1解答科目を利用します) [理①から2]又は[理②から1]	その他	実技検査(音楽) 面接	200	100	100※4	200	200	200	200	200	450	100	800
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1														
			数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1														
		後期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	(5)教科6科目又は7科目)	その他	実技検査(音楽) 面接	200	100	100	100※4	200	200	200	200	400	150	550
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1															
		数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1															
美術教育課程系	前期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	(2)科目受験した場合は、第1解答科目を利用します) [理①から2]又は[理②から1]	その他	実技検査(美術) 面接	200	100	100	100※4	200	200	200	200	200※6	200	400	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1															
		数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1															
	後期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	(6)教科6科目又は7科目)	その他	実技検査(美術) 面接	200	100	100	100※4	200	200	200	200	200	200	1200	
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1																
	数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1																
保健体育教育課程系	前期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	(2)科目受験した場合は、第1解答科目を利用します) [理①から2]又は[理②から1]	その他	実技検査(体育) 面接 運動特技に関する調査	200	100	100※4	200	200	200	200	200	150	100	150※7	400
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1															
		数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1															
		理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	から1															
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1															
		後期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B															
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1																
	数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1																
	理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	から1																
	外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																
	後期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	(5)教科5科目又は6科目)	その他	実技検査(体育) 面接 運動特技に関する調査	200	100	100	100	100	200	200	200	200	200	200	200
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1																
数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1																	
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	から1																	
外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																	
後期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	(5)教科5科目又は6科目)															
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1																	
数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1																	
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	から1																	
外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																	
後期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1		(5)教科5科目又は6科目)	その他	実技検査(体育) 面接 運動特技に関する調査	200	100	100	100	100	200	200	200	200	200	200	200
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1																	
数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1																	
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	から1																	
外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																	
後期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1	(5)教科5科目又は6科目)															
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1																	
数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1																	
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	から1																	
外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																	
後期	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	1		(5)教科5科目又は6科目)	その他	実技検査(体育) 面接 運動特技に関する調査	200	100	100	100	100	200	200	200	200	200	200	200
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1																	
数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1																	
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	から1																	
外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1																	

※1 教育学部学校教育課程系(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。
 [物理]：物理基礎, 物理の全内容を出题範囲とします。 [化学]：化学基礎, 化学の全内容を出题範囲とします。 [生物]：生物基礎, 生物の全内容を出题範囲とします。 [地学]：地学基礎, 地学の全内容を出题範囲とします。
 ※2 配点は、次のとおりとします。また、「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は、「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点科目の成績のみが有効となるため、「数学」を2科目選択する必要があります。
 [2教科3科目(数学1科目かつ理科②から2科目又は数学から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合]：300(100+100+100)点
 [2教科4科目(数学から2科目かつ理科①から2科目又は数学から2科目及び理科②から1科目)選択の場合]：300(100+50+50+100)点
 [2教科4科目(数学から2科目かつ理科①から2科目)選択の場合]：300(100+100+50+50)点
 [2教科4科目(数学から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合]：400(200+200)点とします。なお、同一名称を含む科目同士を選択することはできません。
 ※3 理科①から2科目かつ理科②から1科目選択の場合は100(50+50)点, 理科②から1科目選択の場合は100点とします。
 ※4 配点は、理科①から2科目選択の場合は150(75+75)点, 理科②から1科目選択の場合は150点とします。
 ※5 配点は、理科①から2科目選択の場合は150(75+75)点, 理科②から1科目選択の場合は150点とします。
 ※6 教育学部学校教育課程系(前期日程)では出願時に「実技資料3点」の提出を求め、評価します。
 ※7 教育学部学校教育課程系(前期日程及び後期日程)では出願時に「運動特技に関する調査」の提出を求め、評価します。

p.23~25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等															
		教科	科目名	科目数が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	小論文	面接	ブレイン・ジョブ	運動特技に関する調査	集団活動	配点合計				
教育学部	生活家庭選修 科学教育養成課程・教科教育系 教育系Ⅰコース	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1	[6教科6科目又は7科目]	その他	大学入学共通テスト	200	100	100	100	100	100	100	200							800			
		地歴	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1			個別学力検査	200						200			100						300		
		数	①数I・数A ②数II・数B, 簿・会, 情報	から1			面接											200						1100	
		理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2]又は[理②から1]			その他		大学入学共通テスト	200	100	100	100	100	100	100	200							800	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1			面接		個別学力検査	200	100	100	100	100	100	200				100				100	
		後期																							900
		前期																							700
		後期																							200
		前期																							200
		後期																							200
		前期																							800
		後期																							400
前期																					1200				
後期																					900				
前期																					300				
後期																					1200				

p. 23～25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名	科目名	方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	主体性	配点合計
理学部	地球環境科学コース	国	1			理科※1	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 地(地学基礎, 地学) から1科目選択	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200※3		250		950	
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B から1		(2科目受験した場合, 第1解答科目を利用します)		その他	主体性	個別学力検査			200	200	300			50	350
理学部	理学	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経			理科※1	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 地(地学基礎, 地学) から1科目選択	大学入学共通テスト	200	100	100	200	500※5		200		50	550
		数	①数I・数A ②数II・数B	1	計2科目		その他	主体性	計	100	50	200※5	800※5		200		50	1400
理学部	理学	理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	[理①から2] かつ [理②から1] } から1		理科※1	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 地(地学基礎, 地学) から1科目選択	大学入学共通テスト	100	50	100	100	300※4		200		850	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	から1	(5教科7科目又は8科目)		その他	主体性	計	100	50	200※5	500※5		200		50	550
理学部	理学	前				理科※1	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 地(地学基礎, 地学) から1科目選択	大学入学共通テスト	200	100	100	100	200※3		250		950	
		後				その他	主体性	計	200	100	200	300	500		250		350	
理学部	理学	前				理科※1	物(物理基礎, 物理) 化(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 地(地学基礎, 地学) から1科目選択	大学入学共通テスト	200	100	100	100	300※4		200		850	
		後				その他	主体性	計	100	50	200※5	500※5		200		50	1400	

※1 理学部理学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。

【物理】：物理基礎、物理の全内容を出題範囲とします。【化学】：化学基礎、化学の全内容を出題範囲とします。【生物】：生物基礎、生物の全内容を出題範囲とします。【地学】：地学基礎、地学の全内容を出題範囲とします。

※2 理学部理学科(後期日程)の個別学力検査で課す「総合問題(物理, 数学)」は物理の問題と数学の問題を出題範囲とします。出題範囲については、次のとおり内容が指定されます。

【数学】：数I, 数II, 数III, 数A, 数B(数列, ベクトル)を出題範囲とします。【物理】：物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。

※3 配点は、3科目(理科①から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合は200(50+50+100)点、2科目(理科②から2科目)選択の場合は200(100+100)点とします。なお、同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

※4 配点は、3科目(理科①から2科目かつ理科②から1科目)選択の場合は300(75+75+150)点、2科目(理科②から2科目)選択の場合は300(150+150)点とします。なお、同一名称を含む科目同士を選択することはできません。

※5 この配点区分は、個別学力検査で総合問題以外を選択する場合があります。総合問題を選択する場合は物理学コース(後期日程)と同じ配点区分になります。

p.23～25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部 学科・ 課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	科目名	科目数	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	主体性	配点 合計
工学部 機械システム工学科	国	1		数学※2	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ,	大学入学共通テスト	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250		1250	
	地歴	1	(2科目受験した場合は、第1解答科 目を利用します※1)	理科※3	数A, 数B	個別学力検査				300(《200》+100)※7		100		450	
工学部 電気電子システム工学科	公民	1		外国語※4	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	計	200	100		1000		350		1700	
	数	1	計2科目	その他	主体性										
工学部 電気電子システム工学科	理	1	[物]かつ[物以外から] (計2科目)	数学※2	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ,	大学入学共通テスト	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250		1250	
	外	1	(5教科7科目)	外国語※4	数A, 数B 英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	個別学力検査	200	100		300		100		450	
工学部 電気電子システム工学科	英	1		その他	主体性	計	200	100		600	400	350		1700	
				数学※2	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ,	大学入学共通テスト	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250		1250	
工学部 電気電子システム工学科				理科※3	数A, 数B	個別学力検査				300(《200》+100)※7		100		450	
				外国語※4	英語 (コミュニケーション)英語Ⅰ, コミュニケーション)英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	計	200	100		1000		350		1700	
工学部 電気電子システム工学科				その他	主体性										
				数学※2	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ,	大学入学共通テスト	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250		1250	
工学部 電気電子システム工学科				外国語※4	数A, 数B	個別学力検査				300		100		450	
				その他	主体性	計	200	100		600	400	350		1700	
工学部 電気電子システム工学科				数学※2	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ,	大学入学共通テスト	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250		1250	
				外国語※4	数A, 数B	個別学力検査				300		100		450	
工学部 電気電子システム工学科				その他	主体性	計	200	100		600	400	350		1700	
				数学※2	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ,	大学入学共通テスト	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250		1250	
工学部 電気電子システム工学科				外国語※4	数A, 数B	個別学力検査				300		100		450	
				その他	主体性	計	200	100		600	400	350		1700	

※1 工学部機械システム工学科、電気電子システム工学科（前・後期日程）において大学入学共通テストで課す「地歴歴史、公民」で2科目受験した場合は、「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理」「政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択しないと出願することはできません。

※2 工学部機械システム工学科、電気電子システム工学科（前・後期日程）の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のおり内容を指定します。【数B（数列、ベクトル）】

※3 工学部機械システム工学科、電気電子システム工学科（前期日程）の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。

【物理】：物理基礎、物理の全内容を問題範囲とします。

※4 工学部（前・後期日程）の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、個別学力検査の点数と英語資格・検定試験のみなし得点の点数を総合して評価します。（評価方法の詳細については、p.49を参照してください）

ただし、工学部（前・後期日程）を受験する者は、英語資格・検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語（英語）」は必ず受験してください。

※5 工学部機械システム工学科、電気電子システム工学科（前・後期日程）の配点は、大学入学共通テストの「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

※6 工学部機械システム工学科、電気電子システム工学科（前・後期日程）の配点は、大学入学共通テストの「理科②」の高得点科目の得点を3倍して、合計400点とします。

※7 工学部機械システム工学科、電気電子システム工学科（前期日程）の配点は、個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

p.23～25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等							
	教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	主体性
工学部	前期	国	1	(2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します※1)	数学※2	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、 数A、数B	大学入学共通テスト 個別学力検査	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250
		地歴	世B、日B、地理B		から1			理科※3	物(物理基礎、物理)・ 化(化学基礎、化学)・ 生(生物基礎、生物)	計	200	100		300(《200》+100)※7
工学部	後期	数	①数Ⅰ・数A ②数Ⅱ・数B	計2科目	外国語※4	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト 個別学力検査	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250
		前期	②物、化、生、地	から2	その他			その他	計	200	100		600	400
工学部	後期	外	1	[5教科7科目]	その他	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト 個別学力検査	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250
		前期	英		その他			その他	計	200	100		300(《200》+100)※7	1000
工学部	前期	国	1	(2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します※1)	数学※2	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、 数A、数B	大学入学共通テスト 個別学力検査	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250
		地歴	世B、日B、地理B		から1			理科※3	物(物理基礎、物理)・ 化(化学基礎、化学)・ 生(生物基礎、生物)	計	200	100		300(《200》+100)※7
工学部	後期	数	①数Ⅰ・数A ②数Ⅱ・数B	計2科目	外国語※4	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト 個別学力検査	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250
		前期	②物、化、生、地	から2	その他			その他	計	200	100		600	400
工学部	後期	外	1	[5教科7科目]	その他	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト 個別学力検査	200	100		300(《200》+100)※5	400(《300》+100)※6	250	1250
		前期	英		その他			その他	計	200	100		600	400

※1 工学部物質科学工学科、情報工学科(前・後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史、公民」で2科目受験した場合は、「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していただくと出願することはありません。

※2 工学部物質科学工学科、情報工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次とおりの内容を指定します。【数B(数列、ベクトル)】

※3 工学部物質科学工学科、情報工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。

【物理】：物理基礎、物理の全内容を出題範囲とします。【化学】：化学基礎、化学の全内容を出題範囲とします。【生物】：生物基礎、生物の全内容を出題範囲とします。

※4 工学部(前期・後期日程)の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、英語資格・検定試験のみなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。ただし、工学部(前期・後期日程)の個別学力検査で課す「外国語」の配点は、大学入学共通テストの「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

※5 工学部物質科学工学科、情報工学科(前・後期日程)の配点は、英語資格・検定試験のみなし得点と英語資格・検定試験の点数を総合して評価します。(評価方法の詳細については、p.49を参照してください)

※6 工学部物質科学工学科、情報工学科(前・後期日程)の配点は、大学入学共通テストの「理科②」の高得点科目の得点を3倍して、合計400点とします。

※7 工学部物質科学工学科、情報工学科(前期日程)の配点は、個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

p.23～25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部 学科・ 課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	日程	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科②	外国語	主体性	配点 合計
工学部 都市システム 工学科	前期	国	1	本学が課す科目数及び科目選択の方法等 (2科目受験した場合は、第1解答科 目を利用します※1)	数学※2	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数Ⅳ, 数Ⅴ	大学入学共通テスト	200	100	300(《200》+100)※5	300(《200》+100)※6	250	250	1250	
		地歴	1		から1	理科※3	物(物理基礎, 物理)	個別学力検査							450
工学部	後期	公民	1	計2科目 [物]かつ[物以外から] (計2科目) [5教科7科目]	外国語※4	英語 (コミュニケーション/英語Ⅰ, コミュニケーション/英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	計	200	100	300(《200》+100)※7	1000	350	350	1700	
		数	1		①数Ⅰ・数Ⅱ ②数Ⅱ・数Ⅲ	その他	主体性								
工学部	後期	理	1	計2科目 [物]かつ[物以外から] (計2科目) [5教科7科目]	数学※2	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数Ⅳ, 数Ⅴ	大学入学共通テスト	200	100	300(《200》+100)※5	300(《200》+100)※6	250	250	1250	
		外	1		①数Ⅰ・数Ⅱ ②数Ⅱ・数Ⅲ	外国語※4	英語 (コミュニケーション/英語Ⅰ, コミュニケーション/英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	個別学力検査	200	100	600	400	350	350	1700
工学部					その他	主体性									

※1 工学部都市システム工学科(前・後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史、公民」で2科目受験した場合は、「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため、

「世界史B」「日本史B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理」「政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していただくと出願することはできません。

※2 工学部都市システム工学科(前・後期日程)の個別学力検査で課す「数学」の数Ⅱについては、次のとおり内容を指定します。【数Ⅱ(数列, ベクトル)】

※3 工学部都市システム工学科(前期日程)の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。

【物理】：物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とします。

※4 工学部(前・後期日程)の個別学力検査で課す「外国語」の英語は、個別学力検査の点数と英語資格・検定試験のみなし得点の点数を総合して評価します。(評価方法の詳細については、p.49を参照してください)

ただし、工学部(前・後期日程)を受験する者は、英語資格・検定試験のみなし得点の場合でも、個別学力検査の「外国語(英語)」は必ず受験してください。

※5 工学部都市システム工学科(前・後期日程)の配点は、大学入学共通テストの「数学①」と「数学②」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

※6 工学部都市システム工学科(前・後期日程)の配点は、大学入学共通テストの「理科②」の高得点科目の得点を3倍して、合計400点とします。

※7 工学部都市システム工学科(前期日程)の配点は、個別学力検査の「数学」と「理科」のいずれか高い得点を2倍して、合計300点とします。

p.23~25の【大学入学共通テストに関する注意事項】
と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
		科目名	本学が讀す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	主体性	配点合計						
農学部	バイオ・国際・食・農業・生命科学コース	前期	国	1	〔2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します※2〕 計2科目 〔理②から2〕 〔5教科7科目〕	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 化学(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 主体性	大学入学共通テスト	200	100	100	200	200	200	50	200	200	200	900			
			地歴	世B, 日B, 地理B		から1	英語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	個別学力検査				200	《400》※4	200	200	200	200	200	450		
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経		から1	理科※3	化学(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 主体性	計	200	100	200	400	400	400	400	50	50	50	1350		
			数	①数Ⅰ, 数Ⅰ・数A ②数Ⅱ, 数Ⅱ・数B		から1	その他	主体性														
			理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地		から1	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	計	100	50	200	200	200	《400》※4	200	200	200	200	200	850	
		外	英	1	その他	主体性																
		後期	国	1	〔2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します※2〕 計2科目 〔理②から2〕 〔5教科7科目〕	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 化学(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 主体性	大学入学共通テスト	200	100	100	200	200	200	200	100	200	200	200	900		
			地歴	世B, 日B, 地理B		から1	英語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	個別学力検査				200	200	200	200	50	200	200	450		
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経		から1	理科※3	化学(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 主体性	計	200	100	200	400	400	400	400	50	50	50	1350		
			数	①数Ⅰ, 数Ⅰ・数A ②数Ⅱ, 数Ⅱ・数B		から1	その他	主体性														
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地		から1	外国語		英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	計	100	50	200	200	200	《400》※4	200	200	200	200	200	1100			
外	英	1	その他	主体性																		
農学部	地域総合農学科	前期	国	1	〔5教科7科目又は8科目〕 〔2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します※2〕 計2科目 〔理①から2〕又は〔理②から1〕	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 物理(物理基礎, 物理) 化学(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 主体性	大学入学共通テスト	200	200	100	100	100	100	200	200	200	200	900			
			地歴	世B, 日B, 地理B		から2	英語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	個別学力検査				200	200	200	200	50	50	450			
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経		から1	理科※3	物理(物理基礎, 物理) 化学(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 主体性	計	200	200	200	300	300	300	400	50	50	1350			
			数	①数Ⅰ, 数Ⅰ・数A ②数Ⅱ, 数Ⅱ・数B		から1	その他	主体性														
			理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地		から1	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	計	200	100	200	200	200	100	200	200	200	200	900		
		外	英	1	その他	主体性																
		後期	国	1	〔5教科7科目又は8科目〕 〔2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します※2〕 計2科目 〔理②から2〕 〔5教科7科目〕	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	大学入学共通テスト	200	100	100	200	200	200	200	200	200	200	200	900		
			地歴	世B, 日B, 地理B		から1	英語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	個別学力検査				200	200	200	200	50	50	450			
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経		から1	理科※3	物理(物理基礎, 物理) 化学(化学基礎, 化学) 生(生物基礎, 生物) 主体性	計	200	200	200	300	300	300	400	50	50	1350			
			数	①数Ⅰ, 数Ⅰ・数A ②数Ⅱ, 数Ⅱ・数B		から1	その他	主体性														
理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地		から1	外国語		英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	計	200	100	200	200	200	100	200	200	200	200	900				
外	英	1	その他	主体性																		

※1 農学部地域総合農学科地域共生コース(前期日程)のバターン①は文系選択科目、バターン②は理系選択科目を表し、いずれかを受験時に選択します。

※2 農学部食生命科学科(前・後期日程)並びに地域総合農学科農学科農学コース及び地域共生コースI/バターン②(前期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史、公民」で2科目受験した場合は「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため、「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理」「政治・経済」のいずれかを「第1解答科目」として選択していただくと出願できません。

※3 農学部前期日程の個別学力検査で課す「理科」の出題範囲については、次のとおりとします。

【物理】：物理基礎、物理の全内容を出題範囲とします。【化学】：化学基礎、化学の全内容を出題範囲とします。

※4 農学部食生命科学科後期日程の配点においては、大学入学共通テストの「数学①と数学②の合計点」と「理科②2科目の合計点」と「理科②2科目の合計点」のいずれが高い得点を2倍して400点とし、大学入学共通テスト合計を950点とします。

※5 配点は、2科目(理科①から2科目)選択の場合は100(50+50)点、1科目(理科②から1科目)選択の場合は100点とします。

p.23~25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程等	大学入学共通テストの利用教科・科目等				個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
		科目名	本学が讀す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	主体性	配点合計		
農学部	農業科学コース	国	1	(2科目受験した場合は、第1解答科目 を利用します※2) 計2科目 [理②から2] 〔5教科7科目〕	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	大学入学共通テスト	100	50	200 《400》※3	200 《400》※3	200 《400》※3	100	100		850		
		地歴	から1		(2科目受験した場合は、第1解答科目 を利用します※2) 計2科目 [理①から2]又は[理②から1] 〔5教科7科目又は8科目〕又は〔6教科7科目又は8科目〕	(コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性 その他	(2科目受験した場合は、第1解答科目 を利用します※2) 計2科目 [理②から2] 〔5教科7科目〕											
		公民	から1															
		数	から1															
		理	から1															
外	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英		
農学部	地域総合農学コース	国	1	(2科目受験した場合は、第1解答科目 を利用します※2) 計2科目 [理②から2] 〔5教科7科目〕	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	大学入学共通テスト	200 《350》※4	200 《350》※4	50	50	100※5	100	100		850		
		地歴	から2		(2科目受験した場合は、第1解答科目 を利用します※2) 計2科目 [理①から2]又は[理②から1] 〔5教科7科目又は8科目〕又は〔6教科7科目又は8科目〕	(コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性 その他	(2科目受験した場合は、第1解答科目 を利用します※2) 計2科目 [理②から2] 〔5教科7科目〕											
		公民	から1															
		数	から1															
		理	から1															
外	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英		
農学部	地域総合農学コース	国	1	(2科目受験した場合は、第1解答科目 を利用します※2) 計2科目 [理②から2] 〔5教科7科目〕	外国語	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性	大学入学共通テスト	100	50	200 《400》※3	200 《400》※3	200 《400》※3	100	100		850		
		地歴	から1		(2科目受験した場合は、第1解答科目 を利用します※2) 計2科目 [理②から2] 〔5教科7科目〕	(コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 主体性 その他	(2科目受験した場合は、第1解答科目 を利用します※2) 計2科目 [理②から2] 〔5教科7科目〕											
		公民	から1															
		数	から1															
		理	から1															
外	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英	1	英		

※1 農学部地域総合農学コース(後期日程)のバターン①は文系選択科目、バターン②は理系選択科目を表し、いずれかを出願時に選択します。

※2 農学部地域総合農学コース及び地域共生コース「バターン②」(後期日程)において大学入学共通テストで課す「地理歴史、公民」で2科目受験した場合は、「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため、「第1解答科目」として受験した科目の成績を利用するため、「第1解答科目」として受験しないとお願できません。

※3 配点は、大学入学共通テストの「数学①と数学②の合計点」と「理科②2科目の合計点」のいずれか高い得点を2倍して400点とし、大学入学共通テスト合計を850点とします。

※4 配点は、大学入学共通テストの「国語」と「地理歴史、公民2科目の合計点」のいずれか高い得点を1.75倍して350点とし、大学入学共通テスト合計を850点とします。

※5 配点は、2科目(理科①から2科目)選択の場合は100(50+50)点、1科目(理科②から1科目)選択の場合は100点とします。

p.23～25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

学部	学科・課程	大学入学共通テストの利用教科・科目等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名	本学が課す科目数及び科目選択の方法等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	数学①	数学②	外国語	地歴	公民	理科①	理科②	面接
地域未来共創学環	前期	国	①数Ⅰ・数A ②数Ⅱ・数B	1 1 1	計2科目	数学※3 外国語 } から1教科選択	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	大学入学共通テスト	200	100	100	200	300※5			900
		外	英, 独, 仏, 中, 韓	1	から1			個別学力検査	200	200※4	600	300	100	100	300	1200
地域未来共創学環	後期	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2	から3 ※2 } から1又は2	その他	面接	大学入学共通テスト	200	100	100	200	300※5			900
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	1				個別学力検査	200	200	300	300	300	1200		
地域未来共創学環	後期	理	①物基, 化基, 生基, 地基 ②物, 化, 生, 地	※1	〔5教科7科目又は8科目〕又は〔6教科7科目又は8科目〕	その他	面接	大学入学共通テスト	200	100	100	200	300※5			900
		理	物, 化, 生, 地	1				個別学力検査	200	200	300	300	1200			
								計	200	200	200	200	300	300	1200	

※1 地域未来共創学環（前・後期日程）において大学入学共通テストで課す「理科」で同一名称を含む科目同士を選択した場合は、「理科①2科目の合計得点」と「理科②1科目の得点」のうち高得点科目の成績のみが有効となるため、「地理歴史、公民」を2科目選択する必要があります。理科①は2科目で1科目として扱い、配点は100（50+50）点とします。理科②の配点は1科目100点とします。

※2 地域未来共創学環（前・後期日程）において大学入学共通テストで課す「地理歴史、公民」と「理科」をそれぞれ1科目以上（理科①は2科目で1科目として扱う）、合計3科目の成績を利用します。

※3 地域未来共創学環（前期日程）の個別学力検査で課す「数学」の数Bについては、次のとおり内容を指定します。【数B（数列、ベクトル）】

※4 配点は、個別学力検査の「数学」または「外国語」から選択した1教科を200点とします。

※5 配点は、次のとおりとします。

【地理歴史、公民から1科目かつ理科から2科目を選択の場合】：300(100+200)点

【地理歴史、公民から2科目かつ理科から1科目を選択の場合】：300(200+100)点

p.23～25の【大学入学共通テストに関する注意事項】と併せて確認してください。

(2) 個別学力検査等の各教科・科目及び小論文等の出題意図

○前期日程

学部	学科・課程等	個別学力検査等	出題意図	
人文社会科学部	現代社会科学 法律経済学科 人間文化学科	外国語(英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。	
教育学部	教育実践科学コース	小論文 ※2	教育学部で学ぶのに必要な日本語の基礎的能力(読解力, 表記能力, 表現力など)及び論理的思考力をみることを主眼とします。併せて教育に関する興味, 関心, 姿勢などについて論述させます。字数は800字程度です。	
		面接	集団面接(1グループ30分程度)で課題についての討論と質疑を行います。高等学校等までの学習で理解できる現代の教育問題に関するテーマを課し, 本コースで学ぶために必要な能力(分析力, 判断力, 論理構成力, 表現力及びコミュニケーション能力等)をみることを主眼とします。集団面接は10名程度で行います。ただし, 受験者数により変更する場合があります。	
	言語・社会教育系	国語選修	小論文 ※2	教育学部で学ぶのに必要な日本語の基礎的能力(読解力, 表記能力, 表現力など)及び論理的思考力をみることを主眼とします。併せて教育に関する興味, 関心, 姿勢などについて論述させます。字数は800字程度です。
			面接	個人面接(約10分)で行います。志望動機, 教育・国語教育に対する関心, 学習意欲, 表現力などをみることを主眼とします。
		社会選修	小論文 ※3	社会科(地理歴史科・公民科を含む)に関連する資料を提示し, 課題を与えて論述させます。社会選修で学ぶのに必要な能力(教科についての関心とその内容の探究に必要な思考力・判断力・表現力等)をみることを主眼とします。字数は800字程度です。
			面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機, 教育・社会科教育に対する関心, 学習意欲などをみることを主眼とします。なお, 履修した地理歴史科・公民科の学習内容についての質疑応答を含みます。
	英語選修	面接	集団面接(30分程度)で行います。学習意欲, 日本語及び英語の表現力等をみることを主眼とします。なお, 英語による質疑応答も含み, 解答時には, 黒板等への記述を求める場合があります。集団面接は2~3人程度で行います。ただし, 受験者数により変更する場合があります。	
	理数教育系	数学選修	数学 ※4	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学Bを出題範囲とし, 高等学校数学についての基礎的な知識と問題解決力, 論理的思考力, 表現力, 記述力などを評価する問題を出題します。 また, 数学Bに関しては, 次のとおり内容を指定します。 【数学B(数列, ベクトル)】
			面接	個人面接(5分程度)で行います。志望動機, 表現力, 数学教育に対する学習意欲などをみることを主眼とします。
		理科選修	理科 物理 化学 生物 地学 から1科目 選択	物理, 化学, 生物, 地学のうち, 出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお, 各科目の出題意図については, p.42の《教育学部, 理学部, 工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
面接	個人面接(5分程度)で行います。志望動機, 表現力, 理科及び理科教育に対する知識・関心, 学習意欲などをみることを主眼とします。			

- ※1 前期日程における人文社会科学部, 工学部, 農学部及び地域未来共創学環『外国語(英語)選修』の個別学力検査で課す「外国語(英語)」は, 共通の試験問題です。
- ※2 教育学部(前期日程)の個別学力検査で課す「小論文」は, 教育学部内で共通の試験問題です。(社会選修を除く)
- ※3 教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース言語・社会教育系社会選修(前期日程)の個別学力検査で課す「小論文」は, 独自の試験問題です。
- ※4 前期日程における教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース理数教育系数学選修と地域未来共創学環『数学選修』の個別学力検査で課す「数学」は, 共通の試験問題です。

学部	学科・課程等		個別学力検査等	出題意図		
教育学部	学校教育教員養成課程	音楽教育系	音楽選修	実技検査(音楽)	共通課題を課すとともに、各人の希望する選択課題を課します。課題については、p.47～48に示します。音楽の基礎的能力と表現力をみることを主眼とします。	
				面接	個人面接(5～10分程度)で行います。志望動機、意欲、適性、将来性、コミュニケーション能力等をみることを主眼とします。	
		美術教育系	美術選修	実技資料検査(美術)	美術の表現力に関わる基礎的資質をみることを主眼とします。課題については、p.48に示します。	
				面接	個人面接(15分程度)で行います。志望理由、意欲、適性、将来性、コミュニケーション能力、高等学校等での学習状況をみることを主眼とします。また、実技資料検査作品をもとにした質問を含みます。	
		保健体育教育系	保健体育選修	実技検査(体育)	「基礎的身体能力テスト」を実施し、基礎的体力・スキルを総合的に評価します。課題については、p.48に示します。	
				面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機、保健体育教育に関わる知識、学習意欲等をみることを主眼とします。	
				運動特技に関する調査書	体育実技の能力あるいは活動の実績をみることを主眼とします。提出方法については、p.48に示します。	
		技術教育系	技術選修	面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機、技術教育に対する関心、学習意欲、表現力などについて、自分の考えや取り組んできたことなどを的確に伝えることができるかという点を重視して評価します。	
		生活科学教育系	家庭選修	小論文※2	教育学部で学ぶのに必要な日本語の基礎的能力(読解力、表記能力、表現力など)及び論理的思考力をみることを主眼とします。併せて教育に関する興味、関心、姿勢などについて論述させます。字数は800字程度です。	
				面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機、家庭科教育に対する関心・学習意欲などをみるとともに、衣食住、家族・子ども、消費生活・環境など家庭科に関する知識について、その内容をどの程度理解しているか、また自分の考えを的確に表現できるかという点を重視して評価します。	
		特別支援教育コース		集団活動	1グループ50分程度で課題について集団で活動を行います。高等学校等卒業程度に求められる国内外の様々な事象について課題を課し、本コースで学ぶために必要な能力(分析力、表現力及びコミュニケーション能力)並びに特別支援学校教諭としての適性をみることを主眼とします。集団活動は6～8人程度で行います。ただし、受験者数により変更する場合があります。	
		養護教諭養成課程			小論文※2	教育学部で学ぶのに必要な日本語の基礎的能力(読解力、表記能力、表現力など)及び論理的思考力をみることを主眼とします。併せて教育に関する興味、関心、姿勢などについて論述させます。字数は800字程度です。
					プレゼンテーション	課題に対して15分で発表メモを作成し、順番に発表してもらいます。発表時間は3分程度とし、正式な時間は試験当日に指示します。全員の発表を聞いた後に、発表課題に関連した課題を提示し400字程度で記述させます。高等学校等卒業程度に求められる課題を課し、養護教諭に対する強い志向と本課程で学ぶために必要な能力(自己を表現する力、豊かな感性、聞く力、共感的理解力など)を総合的に評価します。

※2 教育学部(前期日程)の個別学力検査で課す「小論文」は、教育学部内で共通の試験問題です。(社会選修を除く)

学部	学科・課程等	個別学力検査等	出題意図	
理学部	理学科	数学・情報数理コース	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bを出題範囲とし、理学部の専門教育の修得に必要な基礎学力，論理的思考力などを評価する問題を出題します。 また、数学Bに関しては、次のとおり内容を指定します。 【数学B（数列，ベクトル）】	
		物理学コース		理科（物理）
		化学コース	理科（化学）	p.42の《教育学部，理学部，工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
		生物科学コース	理科 物理 } 化学 } 生物 } から1科目 選択	物理，化学，生物のうち，出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお，各科目の出題意図については，p.42の《教育学部，理学部，工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
		地球環境科学コース 学際理学コース	理科 物理 } 化学 } 生物 } 地学 } から1科目 選択	物理，化学，生物，地学のうち，出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお，各科目の出題意図については，p.42の《教育学部，理学部，工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
工学部	機械システム工学科 電気電子システム工学科 都市システム工学科	数学Ⅵ※6	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bを出題範囲とし，工学部における専門教育の修得に必要な計算力及び論理的思考力を評価する問題を出題します。 また，数学Bに関しては，次のとおり内容を指定します。 【数学B（数列，ベクトル）】	
		理科（物理）	p.42の《教育学部，理学部，工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。	
		外国語（英語）※1	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。	
	物質科学工学科 情報工学科	数学Ⅵ※6	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bを出題範囲とし，工学部における専門教育の修得に必要な計算力及び論理的思考力を評価する問題を出題します。 また，数学Bに関しては，次のとおり内容を指定します。 【数学B（数列，ベクトル）】	
		理科 物理 } 化学 } 生物 } から1科目 選択	物理，化学，生物のうち，出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお，各科目の出題意図については，p.42の《教育学部，理学部，工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。	
		外国語（英語）※1	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。	

※1 前日程における人文社会科学部，工学部，農学部及び地域未来創学環『外国語（英語）選択』の個別学力検査で課す「外国語（英語）」は，共通の試験問題です。

※5 理学部（前日程）の個別学力検査で課す「数学」は，理学部内で共通の試験問題です。

※6 工学部（前日程）の個別学力検査で課す「数学」は，工学部内で共通の試験問題です。

学部	学科・課程等	個別学力検査等	出題意図	
農学部	食生命科学科	外国語(英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。	
		理科 化学 生物 から1科目 選択	化学, 生物のうち, 出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお, 各科目の出題意図については, 下記の《教育学部, 理学部, 工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。	
	地域総合農学科	農業科学コース	外国語(英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
			理科 化学 生物 から1科目 選択	化学, 生物のうち, 出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお, 各科目の出題意図については, 下記の《教育学部, 理学部, 工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
		地域共生コース	外国語(英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
			理科 物理 化学 生物 から1科目 選択	物理, 化学, 生物のうち, 出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお, 各科目の出題意図については, 下記の《教育学部, 理学部, 工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》に示します。
地域未来共創学環		数学 ※4	数学, 外国語(英語)のうち, 出願時に届け出た1教科について解答させます。 ・数学 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学Bを出題範囲とし, 高等学校数学についての基礎的な知識と問題解決力, 論理的思考力, 表現力, 記述力などを評価する問題を出題します。 また, 数学Bに関しては, 次のとおり内容を指定します。 【数学B(数列, ベクトル)】	
		外国語(英語) ※1	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。	
		面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機, 本学環で学ぶことへの学習意欲, 地域課題への関心などをみることを主眼とします。	

※1 前日程における人文社会科学部, 工学部, 農学部及び地域未来共創学環『外国語(英語)選択』の個別学力検査で課す「外国語(英語)」は, 共通の試験問題です。

※4 前日程における教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース理数教育系数学選修と地域未来共創学環『数学選択』の個別学力検査で課す「数学」は, 共通の試験問題です。

《教育学部, 理学部, 工学部及び農学部の前日程で課す個別学力検査「理科」の出題意図》

「理科」は, それぞれの科目を課す学部・学科等間で共通の試験問題です。

科目	出題意図
物理	物理基礎, 物理の全内容を出題範囲とし, 学部の専門教育の修得に必要な基礎学力, 論理的思考力などを評価する問題を出題します。
化学	化学基礎, 化学の全内容を出題範囲とし, 学部の専門教育の修得に必要な基礎学力, 論理的思考力などを評価する問題を出題します。
生物	生物基礎, 生物の全内容を出題範囲とし, 学部の専門教育の修得に必要な基礎学力, 論理的思考力などを評価する問題を出題します。
地学	地学基礎, 地学の全内容を出題範囲とし, 学部の専門教育の修得に必要な基礎学力, 論理的思考力などを評価する問題を出題します。

○後期日程

学部	学科・課程等	個別学力検査等	出題意図			
人文社会科学部	現代社会学科 法律経済学科	外国語(英語) ※7	コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。			
	人間文化学科	小論文	人間文化学科で学ぶために必要な日本語の基礎的能力(読解力, 表記能力, 表現力など)および論理的思考力をみることを主眼とします。 ひろく人文科学に関連するまとまった内容をもつ文章等を示し, それについてのいくつかの設問に解答させます。解答は合計600~800字程度です。			
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育コース	教育実践科学コース	面接	個人面接(10分程度)で行います。高等学校等までの学習で理解できる学校教育, 特に学校のあり方や様々な教育問題に関する知識について, その内容をどの程度理解しているか, また自分の考えを的確に表現できるかという点を重視して評価します。	
			言語・社会教育系	国語選修	面接	個人面接(約10分)で行います。志望動機, 教育・国語教育に対する関心, 学習意欲, 表現力などをみることを主眼とします。
				社会選修	面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機, 教育・社会科教育に対する関心, 学習意欲などをみることを主眼とします。なお, 履修した地理歴史科・公民科の学習内容についての質疑応答を含みます。
				英語選修	面接	個人面接(15分程度)で行います。学習意欲, 日本語及び英語の表現力などをみることを主眼とします。なお, 英語による質疑応答も含みます。
			理数教育系	数学選修	面接	個人面接(5分程度)で行います。志望動機, 表現力, 数学教育に対する学習意欲などをみることを主眼とします。
				理科選修	面接	個人面接(5分程度)で行います。志望動機, 表現力, 理科及び理科教育に対する知識・関心, 学習意欲などをみることを主眼とします。
			音楽教育系	音楽選修	実技検査(音楽)	共通課題を課すとともに, 各人の希望する選択課題を課します。課題については, p.47~48に示します。音楽の基礎的能力と表現力をみることを主眼とします。
					面接	個人面接(5~10分程度)で行います。志望動機, 意欲, 適性, 将来性, コミュニケーション能力などをみることを主眼とします。
			美術教育系	美術選修	面接	個人面接(15分程度)で行います。志望理由, 意欲, 適性, 将来性, コミュニケーション能力, 高等学校等での学習状況をみることを主眼とします。
			保健体育教育系	保健体育選修	面接	個人面接(10分程度)で行います。志望動機, 学習意欲, 保健体育教育に関わる知識や運動技能を問うとともに, これまで取り組んできた競技経験等について, 的確に伝えることができるかという点を重視して評価します。
					運動特技に関する調書	体育実技の能力あるいは活動の実績をみることを主眼とします。提出方法については, p.48に示します。

※7 人文社会科学部, 工学部及び農学部(後期日程)の個別学力検査で課す「外国語(英語)」は, 3学部共通の試験問題です。

学 部	学 科 ・ 課 程 等			個別学力 検 査 等	出題意図	
教育学部	学校 教育 教員 養成 課程	教科 教育 コース	技術教育系	技術選修	面接	個人面接（10分程度）で行います。志望動機、技術教育に対する関心、学習意欲、表現力などについて、自分の考えや取り組んできたことなどを的確に伝えることができるかという点を重視して評価します。
			生活科学 教育系	家庭選修	面接	個人面接（10分程度）で行います。志望動機、家庭科教育に対する関心・学習意欲などをみるとともに、衣食住、家族・子ども、消費生活・環境など家庭科に関する知識について、その内容をどの程度理解しているか、また自分の考えを的確に表現できるかという点を重視して評価します。
	特別支援教育コース			面接	個人面接（10分程度）で行います。志望動機や障害児・者と関わった経験などを中心に質問し、ことばによる表現力や、本コースで学ぶことへの意欲などを評価します。	
	養護教諭養成課程			面接	集団面接（1グループ50分程度）で課題についての討論と質疑を行います。高等学校等卒業程度に求められる国内外の自然的、人間的及び社会的諸事象に関する課題を課し、本課程で学ぶのに必要な能力（分析力、判断力、論理構成力、表現力、コミュニケーション能力）及び養護教諭としての適性をみることを主眼とします。集団面接は4～8人程度で行います。ただし、受験者数により変更する場合があります。	
理学部	理学科	数学・情報数理コース		数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bを出題範囲とし、数学・情報数理コースの専門教育の修得に必要な基礎学力、論理的思考力などを評価する問題を出題します。 また、数学Bに関しては、次のとおり内容を指定します。 【数学B（数列、ベクトル）】	
		物理学コース		総合問題	下記の《理学部の後期日程で課す個別学力検査「総合問題」及び「理科」の出題意図》に示します。	
		化学コース		理科 (化学)	下記の《理学部の後期日程で課す個別学力検査「総合問題」及び「理科」の出題意図》に示します。	
		生物科学コース		総合問題 理科(化学) 理科(生物) から1科目 選択	総合問題、化学、生物のうち、出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお、各科目の出題意図については、下記の《理学部の後期日程で課す個別学力検査「総合問題」及び「理科」の出題意図》に示します。	
		地球環境科学コース 学際理学コース		総合問題 理科(化学) 理科(生物) 理科(地学) から1科目 選択	総合問題、化学、生物、地学のうち、出願時に届け出た1科目について解答させます。 なお、各科目の出題意図については、下記の《理学部の後期日程で課す個別学力検査「総合問題」及び「理科」の出題意図》に示します。	

《理学部の後期日程で課す個別学力検査「総合問題」及び「理科」の出題意図》

「総合問題」及び「理科」は、理学部内で共通の試験問題です。

科目	出題意図
総合問題	数学の問題（計算問題を含む）と物理の問題からなる、理学部の専門教育の修得に必要な基礎学力、論理的思考力などを評価する問題を出題します。 出題範囲は、「数学」：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（数列、ベクトル）とし、「物理」：物理基礎、物理の全内容とします。
化学	化学基礎、化学の全内容を出題範囲とし、理学部の専門教育の修得に必要な基礎学力、論理的思考力などを評価する問題を出題します。
生物	生物基礎、生物の全内容を出題範囲とし、理学部の専門教育の修得に必要な基礎学力、論理的思考力などを評価する問題を出題します。
地学	地学基礎、地学の全内容を出題範囲とし、理学部の専門教育の修得に必要な基礎学力、論理的思考力などを評価する問題を出題します。

学部	学科・課程等	個別学力検査等	出題意図
工学部	機械システム工学科 電気電子システム工学科 物質科学工学科 情報工学科 都市システム工学科	数学 ※8	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学Bを出題範囲とし，工学部における専門教育の修得に必要な計算力及び論理的思考力を評価する問題を出題します。 また，数学Bに関しては，次のとおり内容を指定します。 【数学B（数列，ベクトル）】
		外国語（英語） ※7	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
農学部	食生命科学科	外国語（英語） ※7	コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの範囲内で出題します。ある程度まとまった英語の文章の読解力と英語による基礎的な表現力などを身に付けているかどうかをみます。
	地域総合農学科 農業科学コース 地域共生コース		
地域未来共創学環		面接	個人面接（15分程度）で行います。志望動機，本学環で学ぶことへの学習意欲，地域課題への関心などをみることを主眼とします。面接の内容には5分程度の自己PRを含みます。自己PRは口頭のみで実施し，資料等の提出や提示は求めません。

※7 人文社会科学部，工学部及び農学部（後期日程）の個別学力検査で課す「外国語（英語）」は，3学部共通の試験問題です。

※8 工学部（後期日程）の個別学力検査で課す「数学」は，工学部内で共通の試験問題です。

○主体性評価

学力の3要素の一つである「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について、本学ではすべての受験者に対し、次のように評価します。

①面接等を実施しない場合は、受験者の自己申告によるチェックシートを、調査書も参考にして評価し、段階評価で点数化して、その配点は全学共通で50点とします。なお、調査書に記載されていない事項が入力されている場合でも、チェックシートを尊重して評価します。

※出願資格により調査書の提出が不要である者や、事情により調査書の提出ができない者は、チェックシートのみ入力してください。チェックシートのみでの評価により不利になることはありません。

※チェックシートにある「高校（中等教育学校後期課程）時代」について、高校に相当する学校等に在籍していない（していなかった）者又は卒業から相当年数が経過している者等は、出願から遡って3年程度の期間に最も学びに向き合ったものを一つ選んで入力してください。

②面接等を実施する場合は、その中で評価します。

本学では、令和3年度入学者選抜から主体性評価を導入しています。導入の経緯や主体性評価に対する考え方については、本学ホームページ (<https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/2021exam/>) の「主体性評価について」をご覧ください。

令和6年度（2024年度）入学者選抜における主体性評価について

茨城大学では、学生一人ひとりが主体的に学びに向き合い、振り返りによって学びを改善しながら成長する「学びのプロセス」を大変重視しています。このような考え方に基づき、大学入学者選抜の「面接等を課さない一般選抜」では、以下の方法により主体性評価を行います。

受験者には、高校（中等教育学校後期課程）時代に最も熱心に学びに向き合ったものを自己申告により一つだけ選択した上で、その学びに関する振り返り等について、チェックシートを作成し、Web上で提出してもらいます。本学はインターネット出願なので、出願時に提出書類の一つとしてチェックシートを入力してもらいます。同時にポートフォリオ等の提出は求めず、従来から提出してもらっている調査書も参考にして、このチェックシートで主体性を50点満点で段階評価します。なお、調査書に記載されていない事項が入力されている場合でも、チェックシートを尊重して評価しますので、受験者自身の考えに従ってチェックシートに入力してください。

下記の項目 (1) から (4) のすべてについて、自分の判断でチェックをつけて、必要事項を入力してください。

(1) あなたが高校（中等教育学校後期課程）時代に、最も熱心に学びに向き合ったものを一つだけ選んでチェックしてください。さらに下の例にならって、具体的な事項を一つ簡潔に入力してください。

例：学習活動（英語学習）、部活動・ボランティア活動（野球部）、生徒会・学校行事等（文化祭実行委員会）、その他の活動（アメリカ ポストンに4週間留学）、取得した資格・獲得した賞（数学検定2級）

- | | | |
|-----------------|---|---|
| 1. 学習活動 | (|) |
| 2. 部活動・ボランティア活動 | (|) |
| 3. 生徒会・学校行事等 | (|) |
| 4. その他の活動 | (|) |
| 5. 取得した資格・獲得した賞 | (|) |

(2) (1) で選択した学びに対して、単に向き合うだけでなく「振り返り」を行うことができましたか。一つ選んでチェックしてください。

1. 大いにできた 2. 少しできた 3. 全くできなかった

(3) [(2) の回答が1か2の場合] 振り返りによって、その学びを改善することができましたか。一つ選んでチェックしてください。

1. 大いにできた 2. 少しできた 3. 全くできなかった

(4) その学び全体をとおして、主体性を高め、成長することができましたか。一つ選んでチェックしてください。

1. 大いにできた 2. 少しできた 3. 全くできなかった

注：「振り返り」とは

自分が行った学びについて省みることにより、問題点や改善の方法等について考えること。

○教育学部実技検査等の課題

① 音楽

- ◇ 学校教育教員養成課程（教科教育コース 音楽教育系 音楽選修）＜前期日程・後期日程＞
音楽の基礎的能力と表現力をみることを主眼とします。
課題は以下のとおりとします。

1. 共通課題（全員受験すること。楽譜を見て演奏してもよい）																									
1) ソルフエージュ	ア) 聴音 8小節の単旋律を書き取らせる。 イ) コールユーブンゲン第1巻原書番号48番から71番中、当日1曲を指定する。 ただし、数字譜及び音階練習は除く。唱法は、移動ド唱法又は固定ド唱法とする。																								
2) 声楽・ピアノ練習曲	<p>〈声楽練習曲〉</p> <p>ア) 声楽練習曲1（「2. 選択課題」からA, C, D, Eを選んだ者） 「コンコーネ50番練習曲 作品9」より 3, 7, 10番の3曲中、1曲を当日指定する。ただし、母音ア又はオで歌うこと。中、低声用のいずれでもよい。 伴奏は本学で用意する。</p> <p>イ) 声楽練習曲2（「2. 選択課題」からBを選んだ者） 「コンコーネ50番練習曲 作品9」より 20, 23番の2曲中、1曲を当日指定する。 ただし、母音ア又はオで歌うこと。中、低声用のいずれでもよい。 伴奏は本学で用意する。</p> <p>〈ピアノ練習曲〉</p> <p>ア) ピアノ練習曲1（「2. 選択課題」からB, C, D, Eを選んだ者） 「ツェルニー30番練習曲 作品849」より19番変口長調、20番ハ長調の2曲中、任意の1曲を演奏する。</p> <p>イ) ピアノ練習曲2（「2. 選択課題」からAを選んだ者） 「クラマー=ビューロー60練習曲」より35番ホ短調、42番変口長調の2曲中、任意の1曲を演奏する。</p>																								
2. 選択課題（次のA, B, C, D, Eのいずれか一つを選択し、暗譜で演奏する）																									
A. ピアノ	<table border="0"> <tr> <td>ハイドン 作曲</td> <td>ソナタ 嬰ハ短調</td> <td>Hob. XVI-36</td> <td>第1楽章</td> </tr> <tr> <td>モーツァルト 作曲</td> <td>ソナタ 八長調</td> <td>K. 309</td> <td>第1楽章</td> </tr> <tr> <td>ベートーヴェン 作曲</td> <td>ソナタ ハ長調</td> <td>Op. 10-2</td> <td>第1楽章</td> </tr> <tr> <td>ベートーヴェン 作曲</td> <td>ソナタ 変ホ長調</td> <td>Op. 31-3</td> <td>第1楽章</td> </tr> <tr> <td>ベートーヴェン 作曲</td> <td>ソナタ ハ長調</td> <td>Op. 54</td> <td>第1楽章</td> </tr> <tr> <td>ベートーヴェン 作曲</td> <td>ソナタ 嬰ハ長調</td> <td>Op. 78</td> <td>第1楽章</td> </tr> </table> <p>以上6曲中、任意の1曲を演奏する。</p>	ハイドン 作曲	ソナタ 嬰ハ短調	Hob. XVI-36	第1楽章	モーツァルト 作曲	ソナタ 八長調	K. 309	第1楽章	ベートーヴェン 作曲	ソナタ ハ長調	Op. 10-2	第1楽章	ベートーヴェン 作曲	ソナタ 変ホ長調	Op. 31-3	第1楽章	ベートーヴェン 作曲	ソナタ ハ長調	Op. 54	第1楽章	ベートーヴェン 作曲	ソナタ 嬰ハ長調	Op. 78	第1楽章
ハイドン 作曲	ソナタ 嬰ハ短調	Hob. XVI-36	第1楽章																						
モーツァルト 作曲	ソナタ 八長調	K. 309	第1楽章																						
ベートーヴェン 作曲	ソナタ ハ長調	Op. 10-2	第1楽章																						
ベートーヴェン 作曲	ソナタ 変ホ長調	Op. 31-3	第1楽章																						
ベートーヴェン 作曲	ソナタ ハ長調	Op. 54	第1楽章																						
ベートーヴェン 作曲	ソナタ 嬰ハ長調	Op. 78	第1楽章																						
B. 声楽	<p>A. スカルラッチェ 作曲 Se tu della mia morte ハ短調</p> <p>山田 耕筰 作曲 鐘がなります ト長調</p> <p>中山 晋平 作曲 ゴンドラの唄 ハ長調（1, 2番のみ）</p> <p>以上3曲中、任意の1曲を歌うこと。ただし、調子は指定のものとし、歌詞は原語とする。伴奏は本学で用意する。</p>																								
C. 管楽器	<p>楽器はフルート、オーボエ、クラリネット、サキソフォーン、ファゴット、トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバの中より、一つを選択すること。</p> <p>5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。</p> <p>※ 楽器は当日各自持参すること。楽譜（パート譜が望ましい）は、氏名及び楽器名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を出願書類と併せて提出すること。</p>																								
D. 弦楽器	<p>楽器はヴァイオリン又はチェロのいずれかを選択すること。</p> <p>5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。</p> <p>※ 楽器は当日各自持参すること。楽譜（パート譜が望ましい）は、氏名及び楽器名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を出願書類と併せて提出すること。</p>																								

E. 打楽器	楽器はマリンバとする。 5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。 ※ マリンバ（F～Fの5オクターヴ）は本学で用意するが、マレットは当日各自持参すること。楽譜は、氏名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を出願書類と併せて提出すること。
--------	---

- (注意) 1. 共通課題及び選択課題は、曲の一部の省略を求めることがあります。
 なお、繰り返しは省略します。
 2. 入学後、選択課題と同一の研究分野を引き続き履修できるとは限りません。

② 美術

◇ 学校教育教員養成課程（教科教育コース 美術教育系 美術選修）＜前期日程＞

実技資料3点（デッサン作品2点、美術作品1点）を出願時に提出してください。

デッサン作品は、モチーフ等の描画対象は問いません。また、作品サイズや紙・描画材等は指定しませんが、梱包して送付、移動が可能なものに限りします。

美術作品は絵画、彫刻、工芸、デザインのいずれかの領域に属する成果物とします。また、作品の大きさや重さ及び素材の制限はありません。ただし、梱包して送付、移動が可能なものとします。

※美術作品についての特例事項

送付、移動が困難な作品の場合は、A4サイズの写真で提出してください。

平面作品の場合は、全体と部分（ディテール）の2枚、立体作品の場合は、全体3方向（正面と他の2方向）と部分（ディテール）の4枚を提出してください。

その他、送付、移動の際に破損の恐れのある作品の場合、また、安全管理及び保健衛生上支障のある作品の場合は、大きさを問わず写真で提出してください。

③ 体育

◇ 学校教育教員養成課程（教科教育コース 保健体育教育系 保健体育選修）＜前期日程＞

<基礎的身体能力テスト>

以下の領域をすべて受験してください。

領域	課題
体づくり運動	〈立幅跳〉両足を揃えた状態から水平に跳躍した距離を測定する。 〈往復走〉20m区間を3分間で往復した回数を測定する。
器械運動	開脚前転と伸膝後転の2種目を実施する。
ボール運動	卓球ボールを、口径約6.5cm、長さ約38.5cmの筒（バドミントンのシャトルケース）でキャッチする。バレーボールのネットを越えて飛んできたボールを、右手で4回、左手で4回キャッチする。受験者は筒の中央を持つこととする。
表現運動	約60秒のリズムダンスを行う。受験者は当日に課題を与えられ、10分の練習の後に試験を実施する。

- (注意) 1. 運動に適した服装で来場してください。なお、学校名や氏名がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
 2. 必ず屋内用の運動靴を持参してください。

◇ 学校教育教員養成課程（教科教育コース 保健体育教育系 保健体育選修）＜前期日程・後期日程＞

<運動特技に関する調書>

「運動特技に関する調書」を出願時に提出してください。なお、「運動特技に関する調書」は、志願者の運動特技について出身学校の担当者（保健体育主任又は担当顧問教員等の指導的な立場にある者）が責任をもって記入してください。ただし、やむをえず出身学校の担当者に調書を記入してもらえない場合は、志願者が調書に記入してもかまいません。その場合、志願者本人が出身学校の担当者に調書を記入してもらえない理由を明記した書類（任意様式）を作成の上、添付してください。

また、競技経験等のうち競技成績を裏付ける客観的な資料を添付してください。ここでの運動特技は志願者本人のプレーヤーとしての競技実績（*）を指し、マネージャーやアシスタントコーチといったサポートスタッフ等としての貢献は運動特技に含みません。

（*）団体競技などチームで行う活動の場合は、チームの競技実績に加え、チーム内における志願者本人の役割・実績等を具体的に記入してください。

○工学部の個別学力検査の外国語（英語）における英語資格・検定試験のみなし得点

工学部一般選抜（前期日程及び後期日程）の個別学力検査の外国語（英語）において、本学が指定する英語資格・検定試験を受験している場合には、その成績をみなし得点に換算して、本学で実施する個別学力検査の外国語（英語）の点数と総合して評価します。具体的には下記の2つを比較して高い方の点数を外国語（英語）の得点とします。

- ①（【みなし得点の点数】＋【本学で実施する個別学力検査の外国語（英語）の点数】）÷2
- ②【本学で実施する個別学力検査の外国語（英語）の点数】

ただし、みなし得点を利用する場合でも、個別学力検査の外国語（英語）を受験しなかった者は欠席者となり、合否判定の対象とはなりませんので、個別学力検査の外国語（英語）を必ず受験してください。
英語資格・検定試験のみなし得点換算表は、以下のとおりです。

《英語資格・検定試験のみなし得点換算表（工学部一般選抜）》

みなし得点	CEFR	ケンブリッジ英語検定（※1）	実用英語技能検定（※2）	GTEC（※3）	IELTS（※4）	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT（※5）	TOEIC L&R / TOEIC S&W（※6）（※7）
100点	C2 C1 B2	160以上	2300以上	1180以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1560以上
90点	B1	140以上	1950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1150以上
70点	A2-3	130以上	1825以上	820以上	－	180以上	328以上	－	888以上
60点	A2-2	125以上	1763以上	755以上	－	158以上	281以上	－	756以上
50点	A2-1	120以上	1700以上	680以上	－	135以上	235以上	－	625以上
30点	A1-2	110以上	1550以上	470以上	－	－	－	－	473以上
10点	A1-1	100以上	1400以上	260以上	－	－	－	－	320以上

以上の全ての英語資格・検定試験については、令和3年度（2021年度）以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります。また、出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。複数の英語資格・検定試験の成績を有している場合は、換算後の得点が最も高くなる1つを提出してください。

- （※1）ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。
- （※2）実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施、準会場実施）に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。
- （※3）GTEC（Core／Basic／Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は、オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。
- （※4）IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。
- （※5）TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。
- （※6）TOEIC（L&R/S&W）は、「公開テスト」を受験した成績に限ります。
- （※7）TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験し表中の得点を取得している場合も利用できることとします。

(3) 成績評価及び合否判定

「(1) 入学者選抜の実施教科・科目及び配点等」(p.23~38)により、大学入学共通テスト及び一般選抜前期・後期日程の個別学力検査等の成績を総合して評価します。

本学の各学部、学科・課程等が課す個別学力検査等のうち一つでも受験しなかった者は、合否判定の対象とはなりません。

- 個別学力検査等は、p.39~45の「出題意図」に基づき評価します。
- 同点者は同順位とし、特定科目の成績を重視したり、特定科目に最低点(いわゆる足きり点)を設けたりすることはありません。
- 前期日程の「理科」で選択科目を課す学科、選修において、科目間で著しい平均点差が生じた場合には、得点を調整することがあります。
- 後期日程の理学部理学科(物理学コース/化学コース/生物科学コース/地球環境科学コース/学際理学コース)において、科目間で著しい平均点差が生じた場合には、得点を調整することがあります。
- 後期日程の農学部地域総合農学科は、コース別ではなく学科全体で合否判定を行います。

(4) 理学部(後期日程)及び工学部(後期日程)の第2志望制について

1) 理学部の第2志望制

① 出願に関する留意事項

ア) 後期日程の理学部(数学・情報数理コースを除く)への出願にあたっては、第1志望とするコースの他に第2志望のコースを選択し出願することができます。

ただし、下表の組み合わせのとおり、**第1志望・第2志望のどちらかは学際理学コースを選択している必要があります。**

・第1志望コースと第2志望コースの組み合わせ

○の組み合わせのみ出願することができます。×の組み合わせで出願することはできません。

第1志望コース \ 第2志望コース	数学・情報数理コース	物理学コース	化学コース	生物科学コース	地球環境科学コース	学際理学コース
数学・情報数理コース		×	×	×	×	×
物理学コース	×		×	×	×	○
化学コース	×	×		×	×	○
生物科学コース	×	×	×		×	○
地球環境科学コース	×	×	×	×		○
学際理学コース	×	○	○	○	○	

イ) 第2志望まで選択する場合は、**第1志望・第2志望の両方のコースにおいて、出願要件を満たす必要があります。**

(注) 個別学力検査の受験科目に関して、下表のとおり、第1志望・第2志望の両方のコースの出願要件を満たす科目を選択しなければ出願することはできません。

・第2志望コースまで選択する場合における個別学力検査の選択科目

第1・第2志望コースの組み合わせ	個別学力検査の選択科目
「物理学コース」と「学際理学コース」	総合問題
「化学コース」と「学際理学コース」	化学
「生物科学コース」と「学際理学コース」	総合問題、化学、生物のいずれか
「地球環境科学コース」と「学際理学コース」	総合問題、化学、生物、地学のいずれか

ウ) 第2志望のコースを選択しないこともできます(選択しない場合でも不利益等が生じることはありません)。

② 合否判定の方法について

理学部(数学・情報数理コースを除く)の受験者全員を成績順に並べ、成績上位者から順に各コースの予定合格者数を充たすまで合格者を選考します。

受験者の順位が第1志望とするコースの予定合格者数の範囲内の場合、受験者は当該コースに合格となります。また、第1志望とするコースの予定合格者数がすでに充たされており、かつ、第2志望とするコースの予定合格者数が充たされていない場合、受験者は第2志望としたコースでの合格となります。

③ 第2志望コースに合格した者への注意事項

第2志望コースに合格した者は、入学手続期間終了時において第1志望コースの入学手続完了者が募集人員に満たなかった場合でも、入学するコースを第1志望コースに変更することはできません。

2) 工学部の第2志望制

① 出願に関する留意事項

- ア) 後期日程の工学部への出願にあたっては、同学部内において第1志望とする学科の他に第2志望の学科を選択し出願することができます。
- イ) 第2志望の学科を選択する場合でも、出願資格の判断は第1志望の学科の要件で行います。
(注) 大学入学共通テストの受験教科・科目に関しては、第1志望の学科において指定する出願要件を満たしていれば、第2志望の学科における出願要件を満たしていない場合でも、当該第2志望の学科を選択することができます。
- ウ) 第2志望の学科を選択しないこともできます(選択しない場合でも不利益等が生じることはありません)。

② 合否判定の方法について

工学部受験者の成績は、第1志望とした学科における成績をそのまま利用します。
受験者全員を成績順に並べ、成績上位者から順に各学科の予定合格者数を充たすまで合格者を選考します。
受験者の順位が第1志望とする学科の予定合格者数の範囲内の場合、受験者は当該学科に合格となります。また、第1志望とする学科の予定合格者数がすでに充たされており、かつ、第2志望とする学科の予定合格者数が充たされていない場合、受験者は第2志望とした学科での合格となります。

③ 第2志望学科に合格した者への注意事項

第2志望学科に合格した者は、入学手続期間終了時において第1志望学科の入学手続完了者が募集人員に満たなかった場合でも、入学する学科を第1志望学科に変更することはできません。

(5) 「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しています。

1. 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります(必ず使用するとは限りません)。
2. 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、本学ホームページで公表します。
3. 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、「入試過去問題活用宣言」のホームページ【<https://www.nyushikakomon.jp/>】にて公表しています。

4. 出願手続

(1) インターネット出願の流れ

手順①	インターネット出願登録 (詳細はp. 55参照)	本学ホームページから「インターネット出願サイト」にアクセスし、マイページの登録及び出願内容の登録を行ってください。
手順②	検定料の支払い (詳細はp. 56参照)	手順①の後、インターネット出願サイトの指示に従って検定料をお支払いください。
手順③	出願に必要な書類の送付 (詳細はp. 57～p. 59参照)	手順②の後、インターネット出願サイトから必要書類を印刷し、他のすべての必要書類とともに本学に送付してください。
手順④	受験票の印刷 (詳細はp. 60参照)	出願期間後にインターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。受験票は志願者各自が印刷して、試験当日に持参してください。

※ インターネット出願サイトでの入力、検定料の支払いだけでは、出願は受理されません。出願に必要な書類等が提出期間内に大学へ到着して、到着した書類に不備がなく、かつ、出願資格を有することが確認された時点で、出願が受理されます。なお、ご家庭にインターネット利用や印刷の環境が無い場合は、学校や、公共図書館等のセキュリティ対策が信頼できる場所のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。以上の対応によってもインターネット出願の利用が難しい場合は、令和6年1月22日(月)までに、p. 53の入学選抜に関する問い合わせ先(学務部入学課入学試験グループ 電話029-228-8064・8066)へ相談してください。

また、出願後は、出願登録事項及び出願書類の変更は認めません。出願登録事項及び出願書類の内容と相違する事実が判明した場合は、受験を許可しないことがあります。合格者発表後又は入学後であっても、合格又は入学を取り消すことがありますので注意してください。

(2) 出願期間

インターネット出願登録期間及び 検定料支払期間	出願に必要な書類の提出期間 〈期間内必着〉
令和6年1月15日(月)00時00分 ～ 2月2日(金)16時30分まで	令和6年1月22日(月)～2月2日(金)

※ 出願に必要な書類の提出は、郵便局の窓口で書留・速達郵便にて学務部入学課入学試験グループへ発送してください(令和6年2月2日(金)必着)。ただし、期限後に到着したものでも、書留・速達郵便で郵便局の消印が令和6年1月31日(水)までのものについては受け付けます。

なお、本学に直接持参して提出する場合は、提出期間中(土・日曜日は除く)の各日9時から16時30分までの時間に受け付けます。持参による提出の最終受付は提出期間最終日の16時30分となり、以降は持参による提出は受け付けできませんので注意してください。

インターネット出願サイトでの入力・登録期限及び検定料の支払期限に関わらず、郵便事情等を十分考慮の上、余裕を持って発送できるよう注意してください。

(3)問い合わせ先等

- インターネット出願サイトの操作方法・検定料支払い方法に関する問い合わせ先
(株) ディスコ「学び・教育」サポートセンター
電話 0120-202-079 (平日10:00～18:00/土・日・祝日・年末年始を除く)

※入学者選抜に関する質問については、以下の問い合わせ先に連絡してください。

- 入学者選抜に関する問い合わせ先/出願書類提出先
茨城大学学務部入学課入学試験グループ
〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
電話 029-228-8064・8066 (平日9:00～17:00/土・日・祝日・年末年始を除く)

※やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせてください。

◆インターネット出願サイトへのログインについて

インターネット出願では、出願登録時、検定料支払時、必要書類印刷時、受験票印刷時等に、インターネット出願サイトへのログインが必要になります。ログインは、インターネット出願サイトからログイン画面にアクセスして、マイページの登録の際に使用した「メールアドレス」及び「パスワード」を入力してください。

なお、前期日程・後期日程ともに本学に出願する志願者は、前期日程・後期日程それぞれ別の「受付番号」が発行されますので、それぞれの受付番号ごとに必要書類、受験票等の印刷を行ってください。

(4) 事前準備

インターネット出願する前に必ず確認してください	
パソコン等の動作環境	<p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。</p> <p><ブラウザ></p> <ul style="list-style-type: none">・Microsoft Edge 最新版・Google Chrome 最新版・Mozilla Firefox 最新版・Apple Safari 8以降 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。</p> <p>※スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は、閲覧等は可能ですが推奨環境ではありません。一部の端末からは画面が正常に表示されない場合がありますので、パソコンからの利用を推奨します。</p>
メールアドレスの用意及びメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>@e-apply.jp (以下の①～③の連絡用) @vc.ibaraki.ac.jp (臨時連絡用)</p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下の3通のメールが送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none">①マイページ本登録への案内メール②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール③検定料支払完了時の自動送信メール <p>(その他、受験票の印刷を案内するメールを送信する場合があります。)</p> <p>※入学手続きが終了するまでメールアドレスは変更しないでください。</p>
志願者本人の写真(データ)の用意	<p>インターネット出願登録にあたって、顔写真データ(2MBまで)が必要です。写真は本人確認に利用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。</p>
その他必要書類の用意	<p>大学入学共通テスト受験票の下欄に付属の「令和6共通テスト成績請求票」、高等学校等が発行する「調査書」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください。(p.57～59参照)</p>
角形2号封筒の用意	<p>必要書類提出のために、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を用意してください。前期日程・後期日程とも本学に出願する場合は、前期日程及び後期日程それぞれにつき1枚ずつ用意してください。</p>
様式印刷の用意(プリンター、用紙等)	<p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンター及び印刷用紙(普通紙、PPC用紙、OA共通用紙、コピー用紙等)を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。(個人情報の取り扱いには十分注意してください。)</p>

※本学の「インターネット出願サイト」内の「事前準備」も併せてよく読んでください。

(5)手順① インターネット出願登録

インターネット出願登録期間内に本学ホームページから「インターネット出願サイト」にアクセスし、「マイページ登録」ボタンをクリックして、出願に必要な情報を入力・登録してください。トップページ下段の「インターネット出願利用手順」及び本学生募集要項をよく読んでから、入力・登録を開始してください。

手 順	
(1)サイトにアクセス	<p>本学ホームページ (https://www.ibaraki.ac.jp/) から、「インターネット出願サイト」にアクセス。(p. 1を参照し直接アクセスすることも可能です) トップページの「マイページ登録」ボタンをクリック。</p> <p style="text-align: center;">▼</p>
(2)マイページの登録	<p>入力画面に沿って「メールアドレス」、「パスワード」及び「個人情報等」を登録してください。 ※メールアドレス登録時に、本登録案内のメールが届きます。</p> <p style="text-align: center;">▼</p>
(3)出願登録	<p>入力画面に沿って入力、登録をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選抜区分, 志願学部, 学科・課程等, コース, パターン, 選択科目等 ・志願者情報, 出願資格(出身学校等)情報等 ・主体性評価のチェックシート(教育学部及び地域未来共創学環以外) ・その他事項(英語資格・検定試験(工学部のみ)等) <p>※志願者連絡先の「電話番号」は、提出書類に不備がある場合又は追加合格の連絡等の緊急連絡時に使用しますので、志願者本人と確実に連絡が取れる番号を入力してください。</p> <p>※顔写真データ(p. 54参照)のアップロードも、ここでを行います。画面上で写真サイズを切り取る(トリミング)こともできます。</p> <p>※入力中に大学入学共通テストの受験教科・科目確認を求められますので、「令和6年度大学入学共通テスト 受験教科・科目確認表(重要)」(p. 75~76)を各自で十分に確認して、チェックボックスをクリックしてください。</p> <p style="text-align: center;">▼</p>
(4)申込内容の確認	<p>入力が完了すると、入力内容の確認画面が表示されます。内容をよく確認して、誤りがなければ「上記内容で申込みする」ボタンをクリックしてください。 <u>これ以降は入力内容の変更はできませんので、注意してください。</u></p> <p style="text-align: center;">▼</p>
(5)登録完了	<p>画面に「受付番号」が表示されたら入力は完了です。引き続き「検定料支払手続き」に進んでください。 登録したメールアドレス宛に、登録完了メールが届きます。メールにも記載される受付番号は、入学手続終了まで大切に保管してください。 ※「受付番号」は、受験番号ではありません。受験番号は出願期間終了後に発行される「受験票」に記載されます。</p>

【インターネット出願登録に関する注意事項】

1. インターネット出願登録(Web入力)を完了しても、まだ出願手続きは完了していません。引き続き、検定料の支払い及び出願に必要な書類の提出を、必ず期間内に行ってください。
2. インターネット出願登録後に、その日を含む4日以内の23時59分までに検定料の支払手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータは支払い期限超過となり、それ以降の手続きが出来なくなります。
3. インターネット出願登録後は、登録内容の修正及び変更はできませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払いの前に誤りに気付いた場合は、検定料を支払わずに、もう一度新たに出願登録をやり直してください。(誤った出願申込データは、必ずマイページから削除してください)
4. 顔写真データは、出願写真として適切でないと判断された場合には、再提出となる場合があります。
5. 前期日程・後期日程ともに本学に出願する場合は、前期日程及び後期日程それぞれにつき入力し、登録する必要があります。引き続き行う検定料の支払い、封筒の準備、必要書類の印刷及び提出についても、前期日程及び後期日程それぞれについて、別々に行ってください。

(6) 手順② 検定料の支払い

検定料の支払いは、手順①のインターネット出願登録後に行います。出願登録後に、以下のいずれかの手順で支払手続きに進んでください。

○出願登録完了画面から引き続き、「引き続き支払う」をクリックする。

○インターネット出願サイトからログインして、マイページの「お支払い」をクリックする。支払方法を選択して、支払期間内に検定料の支払手続きを行ってください。

検定料	支払期間
17,000円	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年1月15日(月)～2月2日(金)16時30分まで ●上記期間内で、インターネット出願登録した日を含む4日以内の23時59分までに支払ってください。ただし、インターネット出願登録した日から4日に満たず2月2日(金)16時30分になった場合は、それ以降の支払いはできませんので注意してください。

※検定料支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の額は支払手続き画面に表示されます。

支払方法	取扱機関等
クレジットカード (出願登録時に支払い完了)	VISA/MasterCard/JCB/AMERICAN EXPRESS/MUFGカード/DCカード/UFJカード/NICOSカード
ネットバンキング (Webで手続き完了)	ペイジー対応ネットバンキング/PayPay銀行/楽天銀行/住信SBIネット銀行/auじぶん銀行 ※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です。
コンビニエンスストア (各コンビニ端末画面の表示に従って必要情報を入力し、支払う)	セブン-イレブン/ローソン, ミニストップ (Loppi) /ファミリーマート (マルチコピー機) /デイリーヤマザキ, ヤマザキデイリーストアー/セイコーマート
郵便局・銀行ATM (ATMの画面表示に従って必要情報を入力し、支払う)	ペイジー対応銀行ATM (ゆうちょ銀行も含まれます)

【検定料支払いに関する注意事項】

1. 検定料支払いを完了しても、まだ出願手続きは完了していません。引き続き、出願に必要な書類の印刷及び提出を、期間内に必ず行ってください。
なお、インターネット出願サイトからの必要書類の印刷は、検定料支払い前にはできません。
2. 支払手続きに関する詳細・注意点等は、インターネット出願サイトのトップページ「お支払い方法」も併せて参照してください。
3. 支払期間を過ぎると、検定料を支払うことはできません。
4. 支払期間内に検定料の支払手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータは支払い期限超過となり、それ以降の手続きが出来なくなります。
5. クレジットカード決済で支払う際のカード名義人は、志願者本人でなくても構いません。

【検定料の返還について】

次のア), イ), ウ) の場合を除き、原則、支払われた検定料はいかなる理由があっても返還できません。

ア) 検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが、出願が受理されなかった場合

イ) 検定料を支払ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合

ウ) 出願受付後、大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目 (p. 23～38参照) を受験していないことが判明した場合

返還される金額:

ア), イ) の場合 検定料全額

ウ) の場合 13,000円

ただし、ア), イ), ウ) とともに返還される金額は上記のものから振込手数料を差し引いた金額になります。

検定料の返還に該当する方は、裏表紙に記載の入学選抜に関する問い合わせ先に申し出て、所定の手続きをしてください。

(7)手順③ 出願に必要な書類の送付

出願に際して提出する必要書類は、下表のとおりです。出願に必要な書類の送付は、手順②の検定料の支払い後に行います。インターネット出願サイトのマイページから、「出願書類」を印刷し、「出願書類提出宛名シート」を剥がれないように貼付した市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、出願書類及びその他必要な書類を同封して、提出期間内に書留・速達郵便で本学へ送付してください。

提出書類等	記入方法・注意事項等
①入学志願者名票	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。
②令和6共通テスト成績請求票	<p>大学入学共通テスト受験票の下欄に付属の「令和6共通テスト成績請求票」を、①の入学志願者名票の「貼付欄」に必ず貼付してください。成績請求票には国公立前期日程用・後期日程用がありますので、貼り間違えることのないよう注意してください。</p> <p>右図は、入学志願者名票の「貼付欄」見本（「前期日程用」の見本です） →</p> <p>※印刷した入学志願者名票の「貼付欄」に、剥がれないように全面糊付けして貼り付けてください。</p> 
③写真票	インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。（入学志願者名票と同時に印刷できます）切り取り等をせずに、A4サイズのまま提出してください。
④調査書等	<p>調査書は、文部科学省の定めた様式により出身学校長が作成し、厳封したものとします。（高等学校等既卒者は、卒業後に発行されたものを提出してください。その際には、令和3年度からの新様式で新たに作成する必要はありません）</p> <p>※ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、早急に学務部入学課入学試験グループ（029-228-8064・8066）まで連絡してください。</p> <p>高等学校卒業（見込者含む）以外の出願資格で出願する者（p.22参照）は、次の書類を提出してください。</p> <p>◎出願資格（2）及び（4）の者： 文部科学省の定めた様式に準じて作成した調査書</p> <p>◎出願資格（3）、（5）及び（6）の者： 当該学校等の成績証明書及び修了（見込）証明書、あるいは資格証書の写し※ ※国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国アビトゥア資格、フランス共和国バカロレア資格等。</p> <p>◎出願資格（7）の者： 合格証明書及び合格成績証明書※（ただし、高等学校卒業程度認定試験合格見込者にあつては合格見込成績証明書※） ※合格成績証明書又は合格見込成績証明書は、厳封のまま提出すること。</p> <p>◎出願資格（8）の者： 本学発行の大学入学資格認定書（写）</p>

提出書類等	記入方法・注意事項等
<p>⑤ 英語資格・検定試験の成績証明書等（写し） （工学部志願者で、英語資格・検定試験の成績を利用する者のみ）(p.49参照)</p>	<p>工学部志願者で、英語資格・検定試験の成績を利用する者は、利用する検定試験の実施団体が発行するスコア証明書等の写し(A4サイズのコピー)を提出してください。 証明書等の発行に期間を要する英語資格・検定試験がありますので、本学の出願期間に間に合うように所定の手続きをしてください。 ○ケンブリッジ英語検定 ○実用英語技能検定 ○GTEC (OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る) ○IELTS ○TEAP ○TEAP CBT ○TOEFL iBT ○TOEIC L&R / TOEIC S&W</p> <p>写しを用意する際には、英語資格・検定試験の名称、受験者の氏名、受験番号、受験日（又は受験回）が表示されるように作成してください。また、入学時にスコア証明書等の原本の提出を求める場合、又は、本学から実施団体に、真正であることを確認する場合がありますので、あらかじめご了承ください。</p>
<p>⑥ 楽譜 （教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース音楽教育系音楽選修志願者のみ）</p>	<p>p.47～48「○教育学部実技検査等の課題」の「①音楽」の「2.選択課題」において課題C、D、Eを選択する者は、氏名等を1頁目の余白に明記した楽譜を、A3横置き判で1部（コピー可）提出してください。</p>
<p>⑦ 実技資料3点 （教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース美術教育系美術選修の前期日程志願者のみ）</p>	<p>「実技資料3点」（p.48, p.79～80参照）は、<u>出願書類とは別に送付してください</u>（美術作品を写真で提出する場合も、デッサン作品に美術作品の写真を同封し、<u>出願書類とは別に送付してください</u>）。その際、「実技資料自己作成証明書」に記載されている氏名票に志願者氏名を記入のうえ切り取り、各作品の裏面等にテープ等で貼り付けしてください。また、梱包等の見えやすい位置に「教育学部美術選修実技資料3点」及び「氏名」を朱書きしてください。なお、提出期限及び提出先は出願書類と同様です。詳細は、p.80の「実技資料自己作成証明書」記入要領及び「実技資料3点」注意事項を参照してください。</p>
<p>⑧ 実技資料自己作成証明書 （教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース美術教育系美術選修の前期日程志願者のみ）</p>	<p>本学ホームページから様式をダウンロードし、実技資料3点を本人が作成したことを出身学校の担当者（例えば、美術担当教員、美術部顧問、クラス担任など）に確認してもらってください。ただし、やむをえず出身学校の担当者に確認してもらえない場合は、志願者本人が当該理由を明記した書類（任意様式）を作成の上、添付してください。 また、氏名、出身学校名、実技資料3点の提出方法を記入し、<u>出願書類に同封してください</u>。</p>
<p>⑨ 運動特技に関する調書 （教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース保健体育教育系保健体育選修志願者のみ）</p>	<p>本学ホームページから様式をダウンロードし、出身学校長が作成し、<u>厳封したもの</u>とします。ただし、やむをえず出身学校の担当者に調書を記入してもらえない場合は、志願者が調書を記入してもかまいません。その場合、志願者本人が出身学校の担当者に調書を記入してもらえない理由を明記した書類（任意様式）を作成の上、添付してください。詳細は、p.82の「運動特技に関する調書」記入要領を参照してください。 【注意事項】 「特技とする運動種目の成績・記録」の欄に記入した成績・記録について、次の資料の写し（コピー）を提出してください。 ①大会プログラム 大会名、主催者及び開催年月日など大会の概要がわかるもの ②個人（チーム等）の大会等への出場や成績・記録等を証明する資料 志願者本人の氏名が記載されたスコアシート（公式記録用紙）又は雑誌・新聞・インターネットの記事・賞状など。チーム等の場合は、志願者本人が出場していることや役割等が分かる資料も追加してください。</p> <p>資料の枚数に制限はありませんが、A4判の大きさに調整する、ステープラー（ホッチキス）で留める等、整理した上で提出してください。</p>

提出書類等	記入方法・注意事項等
⑩ 出願書類提出用 角形 2 号封筒	市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）を各自で用意し、出願に必要な書類をすべて封入し、⑪の宛名シートを貼付して郵送、提出してください。前期日程・後期日程ともに本学に出願する場合は、前期日程及び後期日程それぞれにつき 1 枚ずつ封筒を用意し、必要書類を提出してください。（前期日程の出願書類と後期日程の出願書類を同封しないでください）
⑪ 出願書類提出用 宛名シート	インターネット出願サイトから A4 サイズでカラー印刷してください。（入学志願者名票と同時に印刷できます）角形 2 号封筒の表面に、剥がれないように全面のり付けで貼付してください。また、本学に併願する者は、封入された書類の日程（前期・後期）と、宛名シート表示面の日程が合致していることを確認してください。

【出願に必要な書類に関する注意事項】

1. 出願に必要な書類を提出期間内（必着）に提出し、本学で書類に不備がないことが確認されることにより、出願手続き完了となります。提出期間内に必要書類が届かなかった場合は受付しませんので、余裕を持った出願を心がけてください。
2. インターネット出願サイト及び本学ホームページから各自でダウンロードする書類の PDF ファイルは、あらかじめ A4 サイズのデータになっていますので、プリンター等の「ページ処理」設定での「ページの拡大/縮小」は「なし」、「自動回転と中央配置」に「チェック」を入れて、印刷してください。「用紙に合わせる」や「大きいページを縮小」等に設定した場合、正しいサイズで印刷されないことがあります。
3. 出願受理後は、提出された書類は返却しません。
4. 書類に印字された「前期／後期」、「学部・学科」等の出願情報を手書きで修正することはできません。
5. 提出された必要書類に不備・不足等がある場合は、出願を受理できない場合があります。
6. 提出書類に必要な事項を記入する際は、黒インクのペン又は黒ボールペンを使用してください。
7. 出願に必要な書類を送付する際は、1 枚の封筒に志願者 1 名の書類のみを入れて提出してください。また、前期日程・後期日程ともに本学に出願する場合は、前期日程及び後期日程それぞれにつき 1 枚ずつ封筒を用意し、必要書類を提出してください。
8. 出身学校等で複数名の出願書類をとりまとめて提出する場合は、志願者 1 名ごと、かつ、選抜日程ごとに「出願書類提出用宛名シート」を貼付した角形 2 号封筒に必要な書類を封入し、それら個人別の封筒を別の大型封筒に入れ、志願学部等・前後期の別を記載した志願者の名簿を添えて提出してください。その際に、大型封筒に「入学願書〇〇名分在中」と朱書して、出願期間内に書留・速達郵便で郵送してください。

(8)手順④ 受験票の印刷

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイト上で発行され、印刷できるようになります。インターネット出願サイトにログインして受験票をダウンロードの上、印刷して試験当日に持参してください。

また、試験当日の注意事項等を記した「受験者心得」も同時に印刷して、内容を熟読してください。

なお、受験票は本学からは発送されませんので、必ず各自で印刷し大切に保管してください。

◆ 受験票の印刷開始日：令和6年2月9日（金）

試験当日に必ず持参してください

「受験票」

各自で印刷して、切り取り線に沿って切って持参してください。

「大学入学共通テスト受験票」

個別学力検査等及び入学手続等で必要になりますので、大切に保管した上で持参してください。

「受験者心得」

受験票と同時にダウンロード・印刷の上、必ず熟読して試験に臨んでください。

【受験票に関する注意事項】

1. 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、入学者選抜に関する問い合わせ先（学務部入学課入学試験グループ）へ令和6年2月15日（木）までに連絡してください。
また、パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が、一致していることを必ず確認してください。
2. 受験票の印刷開始日以降になっても受験票が印刷できない場合は、入学者選抜に関する問い合わせ先（学務部入学課入学試験グループ）へ令和6年2月15日（木）までに連絡してください。
3. 実際に試験を受ける「試験場」が受験票に記載されますので、必ず確認し、間違えないよう到来してください。受験票に記載の試験場以外では、いかなる理由があっても受験を認めません。
4. インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
5. 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。
6. 本学に併願した志願者は、前期日程と後期日程の受験票を間違えないように持参してください。

5. 試験当日の日程（個別学力検査等）・試験場

(1) 試験当日の日程
〔一般選抜：前期日程〕

学部, 学科・課程等		令和6年2月25日(日)																			
		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00			
		30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0		
科学部 人文社会	現代社会科学科																				
	法律経済学科	外国語(英語) 9:30~11:00																			
	人間文化学科																				
教育学部	学校教育教員養成課程	教育実践科学コース																			
		言語・社会教育系	国語選修	小論文 9:30~11:30																	
			社会選修																		
			英語選修	面接 9:30~																	
		理数教育系	数学選修	数学 9:30~11:30																	
			理科選修	理科(物理,化学,生物,地学から1) 12:45~14:45																	
		音楽教育系	音楽選修	実技検査(音楽) 12:00~																	
		美術教育系	美術選修	面接 9:30~																	
		保健体育教育系	保健体育選修	実技検査(体育) 9:30~13:30(予定)(*1)																	
		技術教育系	技術選修	面接 9:30~																	
		生活科学教育系	家庭選修	小論文 9:30~11:30																	
		特別支援教育コース	集団活動 9:30~																		
		養護教諭養成課程	小論文 9:30~11:30																		
				プレゼンテーション 13:00~																	
理学部	理学科	数学・情報数理コース	数学 9:30~11:30																		
		物理学コース	理科(物理) 12:45~14:45																		
		化学コース	理科(化学) 12:45~14:45																		
		生物科学コース	理科(物理,化学,生物から1) 12:45~14:45																		
		地球環境科学コース	理科(物理,化学,生物,地学から1) 12:45~14:45																		
		学際理学コース	理科(物理,化学,生物,地学から1) 12:45~14:45																		
工学部	機械システム工学科	電気電子システム工学科	理科(物理) 12:45~14:45																		
		都市システム工学科	外国語(英語) 9:30~11:00																		
		物質科学工学科	理科(物理,化学,生物から1) 12:45~14:45																		
		情報工学科	理科(物理,化学,生物,地学から1) 12:45~14:45																		
			数学 15:45~17:45																		
農学部	地域総合農学科	食生命科学科	理科(化学,生物から1) 12:45~14:45																		
		農業科学コース	外国語(英語) 9:30~11:00																		
		地域共生コース	理科(物理,化学,生物から1) 12:45~14:45																		
地域未来共創学環		数学(*2) 9:30~11:30																			
		外国語(英語)(*2) 9:30~11:00																			

(*1) 教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース保健体育教育系保健体育選修(前期日程)の実技検査の終了時刻は,受験者数により前後する場合があります。

(*2) 一般選抜(前期日程)において,地域未来共創学環は,出願時に「数学」又は「外国語(英語)」のどちらかを選択します。

〔一般選抜：前期日程（2日目 ※教育学部及び地域未来共創学環のみ）〕

学部, 学科・課程等		令和6年2月26日(月)																	
		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
		30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0
教育学部	学校教育教員養成課程	教育実践科学コース																	
		言語・社会教育系	国語選修	面接 9:30～															
			社会選修																
			英語選修	2日目は試験を実施しません。															
		理数教育系	数学選修																
			理科選修	面接 9:30～															
		音楽教育系	音楽選修																
		美術教育系	美術選修	2日目は試験を実施しません。															
		保健体育教育系	保健体育選修	面接 9:30～															
		技術教育系	技術選修	2日目は試験を実施しません。															
生活科学教育系	家庭選修	面接 9:30～																	
特別支援教育コース		2日目は試験を実施しません。																	
養護教諭養成課程		2日目は試験を実施しません。																	
地域未来共創学環		面接 9:30～																	

〔一般選抜：後期日程〕

学部，学科・課程等		令和6年3月12日（火）																	
		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
		30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0
科学部 人文社会	現代社会学科							外国語（英語） 13:00～14:30											
	法律経済学科																		
	人間文化学科							小論文 13:00～15:00											
教育学部	学校教育教員養成課程	教育実践科学コース																	
		言語・社会教育系	国語選修	面接 9:30～															
			社会選修																
			英語選修																
		理数教育系	数学選修																
			理科選修																
		音楽教育系	音楽選修	実技検査（音楽） 9:30～			面接 実技検査終了後～												
		美術教育系	美術選修	面接 9:30～															
		保健体育教育系	保健体育選修																
		技術教育系	技術選修																
生活科学教育系	家庭選修																		
特別支援教育コース																			
養護教諭養成課程																			
理学部	理学科	数学・情報数理コース	数学 9:30～11:30																
		物理学コース	総合問題 9:30～11:00																
		化学コース	理科（化学） 9:30～11:00																
		生物科学コース	総合問題，化学，生物から1 9:30～11:00																
		地球環境科学コース	総合問題，化学，生物，地学から1 9:30～11:00																
		学際理学コース	9:30～11:00																
工学部	機械システム工学科																		
	電気電子システム工学科																		
	物質科学工学科							数学 9:30～11:30			外国語（英語） 13:00～14:30								
	情報工学科																		
	都市システム工学科																		
農学部	食生命科学科																		
	地域総合農学科	農業科学コース							外国語（英語） 13:00～14:30										
		地域共生コース																	
地域未来共創学環								面接 9:30～											

(2) 試験場

実施学部等	試験場名	所在地
人文社会科学部	人文社会科学部試験場	茨城県水戸市文京2-1-1 (水戸キャンパス)
教育学部	教育学部試験場	
理学部	理学部試験場	
地域未来共創学環	地域未来共創学環試験場	
工学部	工学部試験場	茨城県日立市中成沢町4-12-1 (日立キャンパス)
農学部	農学部試験場	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 (阿見キャンパス)

- (注) 1. 試験場は、p.77～78の「試験場等案内図」を参照してください。
2. 受験票に記載の試験場以外では、いかなる理由があっても受験できませんので注意してください。
3. 志願状況によっては、試験場を変更又は追加することがあります。その場合、変更又は追加された試験場を受験票に記載しますので、必ず確認し、間違えることのないようにしてください。
4. 各試験場には駐車場はありません。受験者の送迎も含め、試験場周辺での駐停車は近隣住民の迷惑になります。試験場に会場する際には、公共交通機関を利用してください。
5. 各試験場の試験室等の案内図は、試験当日に配布又は掲示します。

(3) 受験上の注意

受験票とともに「受験者心得」が発行されますので、同時に印刷し、記載事項を十分確認して、受験してください。また、次の事項に注意してください。なお、本学が特に悪質だと判断した不正行為・迷惑行為については、警察に被害届を提出するなど、厳正に対処します(p.73参照)。

- ① 試験当日は、受験票を必ず持参してください。試験当日の留意事項等詳細は「受験者心得」をご覧ください。
- ② 携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、必ず電源を切ってください。
- ③ 耳栓・イヤホンは使用しないでください。イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。(試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。)
- ④ カンニングなど試験の公正・公平性を損なう行為や他の受験者への迷惑行為、試験時間中における携帯電話等の電子機器類や所定の用具以外の補助具などの所持・使用、虚偽の申出などがあった場合、あるいは試験監督員等の指示に従わない場合などは、不正行為とみなし、受験を取りやめさせ、すべての試験の成績を無効とすることがあります。
- ⑤ 災害など不測の事態が生じた際には、試験監督員等の指示に従って行動してください。

6. 個別の入学資格審査の申請

一般選抜の出願資格で、本学における個別の入学資格審査が必要な場合は、以下の方法で資格認定の申請を行ってください。

(1) 申請書類

①入学資格審査申請書（添付書類含む）

※様式は、本学ホームページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/faculty/individual/>】からダウンロードしてください。

また、提出書類の表記が外国語の場合は、必ず日本語訳を添付してください。

②返信用封筒（長形3号／120mm×235mm）

※申請者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、834円分（速達書留料金）の切手を貼り付けてください。ただし、郵便料金の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

(2) 申請方法

郵送の場合は、封筒表面に「大学入学資格認定申請書在中」と朱書の上、必ず書留郵便としてください。

なお、持参の場合も所定の切手を貼り付けた上で返信用封筒を提出してください。

(3) 申請期間

令和6年1月15日（月）～1月18日（木）<必着>

（大学入学共通テストの出願に際して他大学の「個別の入学資格審査」を受けた者で本学に志望を変更する者）

(4) 申請書類の提出先及び問い合わせ先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学学務部入学課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066

(5) 審査方法

本学入学資格審査委員会において、提出書類等に基づき適正に審査を行います。

なお、必要に応じて面接を行うことがあります。

(6) 審査結果の通知

本学の定める様式により申請者本人に通知します。

7. 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除

茨城大学では、災害等で被災した受験者の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜の出願に際し、入学検定料免除の特別措置を実施します。

(1) 特別措置の対象となる入学者選抜

令和5年度中に実施する本学の入学者選抜

(一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜)

(2) 措置内容

入学検定料の免除

(3) 対象者及び対象となる災害

上記(1)の本学入学者選抜に出願する者で、次のいずれかに該当する者

- 1) 平成23年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災した者で、次のいずれかに該当する場合
 - ①主たる家計支持者が所有する自宅家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ②主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
- 2) 居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者

(4) 申請方法

申請希望者は、各選抜の出願受付開始1週間前までに学務部入学課入学試験グループ(029-228-8064)に連絡し、相談してください。相談の結果、該当すると判断された場合には、「入学検定料免除申請書」(所定の様式)及び下記事由に関する証明書等(写し可)を下記提出先に提出してください。

- 1) 平成23年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災した者
 - ①主たる家計支持者が所有する自宅家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」
 - ②主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
◆主たる家計支持者の「死亡又は行方不明を証明する書類」
- 2) 居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者
◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」又は「被災証明書」等

(5) 提出先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学学務部入学課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066

- (注) 1 入学検定料免除申請書については、事前に本学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、入学検定料免除のための事由に関する証明書(罹災証明書等)を添付し、提出してください(ダウンロード場所: <https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/exemption/>)。出願時までには、証明書を提出できない方は、出願期間までに入学検定料を納入し、出願手続きを行ってください。後日、入学検定料免除申請書類が揃いましたら、入学検定料相当額を返還いたします。
- 2 入学検定料免除の審査結果は、原則として出願受理後に本学から送付します。

8. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある者で、受験上又は修学上の配慮を必要とする者は、随時相談に応じますので、茨城大学バリアフリー推進室に相談してください。

相談は、志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、配慮が必要と判断された場合は、以下の書類を令和5年12月22日（金）までに提出してください。なお、期限までに提出できなかった者は、早急に茨城大学バリアフリー推進室まで連絡してください。期限を過ぎて提出した場合でも相談は受け付けますが、相談時期や内容等によっては対応できない場合があります。

- ・ 受験上等配慮申請書（以下の作成様式を参考に作成してください）
- ・ 医師の診断書の写し又は障害者手帳の写し
※診断書が発行されず、障害者手帳も所持していない場合はその旨を申し出てください。
- ・ 大学入学共通テストの「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入学共通テスト受験者のみ）

(2) 受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上及び修学上の配慮について志願予定学部（地域未来共創学環を含む）と相談（必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁し得る出身学校関係者との面談等を行うことがあります）の上、配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。

なお、配慮内容等の協議、また配慮を講じるにあたり、本学の関係する教職員等に個人情報通知されることとなりますので、申請にあたってはあらかじめご了承ください。

(3) 申請書類の提出先及び問い合わせ先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学バリアフリー推進室
電話 029-228-8055

作成様式（A4判縦により作成してください）

茨城大学長 殿	令和 年 月 日
	申請者氏名 _____ 印
受験上等配慮申請書	
令和6年度茨城大学入学者選抜を受験するにあたり、下記のとおり配慮の申請をします。	
記	
1. 志願者氏名	ふりがな ○○ ○○ 年 月 日生（ 歳） 男・女
2. 卒業（見込）学校名	年 月 日卒業（見込）
3. 志願者住所	〒 _____ ☎（ ） _____
4. 志願予定選抜	一般選抜（前期・後期）
5. 志願予定学部、志望学科・課程（コース・系・選修）等	
6. 受験上で希望する配慮内容及び理由	
7. 修学上で希望する配慮内容及び理由	
8. 出身学校での就学状況（出身学校関係者（教諭等）が具体的に記入）（記入者氏名・印）	
9. 添付書類	

9. 合格者発表

(1) 発表日時・場所

選抜日程	発表日時	発表場所
前期日程	令和6年3月7日(木) 13時	本学各キャンパス(水戸, 日立, 阿見)
後期日程	令和6年3月21日(木) 13時	

(2) 発表方法

合格者については、上記の場所に合格者の「受験番号」を掲示します。また、本学ホームページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/>】上でも発表当日の13時以降に合格者の受験番号を発表します。

なお、合格者発表日には本人あてに「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を速達郵便で送付します。
※アクセスが集中すると、接続しにくくなる場合があります。その場合は、時間をおいてからアクセスしてください。

- (注) 1. 合格者発表に関する電話等による照会には、一切応じていません。
2. 合格電報等は、取り扱っていません。
3. 不合格者には、選考結果を通知していません。
4. 出願後、合格者発表までの期間に引越し等により住所(出願登録時に入力した志願者連絡先)に変更があった者は、速やかに学務部入学課入学試験グループ(029-228-8064・8066)に連絡してください。

【注意してください】

試験当日に、本学周辺又は最寄り駅等において、本学職員を装い、合格電報等の申込みと称して個人情報を記入させ、受験者から金銭の收受を行っている業者等が見受けられます。これらの業者等は本学とは一切無関係であり、事故・トラブルが生じて本学は責任を負いませんので、十分に気をつけてください。

なお、合格者の受験番号は合格者発表日に本学ホームページに掲載され、どなたでも閲覧することができますので、本学が合格電報等を斡旋することは絶対にありません。

また、本学が試験当日に受験者に対し金銭の收受を行うことは絶対にありません。

10. 追加合格

入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、追加合格による欠員の補充を行うことがあります。

(1) 追加合格実施の有無に関する公表

追加合格実施の有無及び実施する学部、学科・課程等を、令和6年3月27日（水）20時以降に本学ホームページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/>】に公表します。

(2) 追加合格候補者への連絡方法等

令和6年3月28日（木）8時から、追加合格候補者として該当する受験者に対して順次電話連絡を行い、入学の意志の確認を行います。出願登録時に入力した志願者電話番号（入学志願者名票に記載された電話番号及び携帯電話番号）に電話連絡をしますので、電話番号を入力する際は十分に注意してください。

電話が繋がらなかった場合や不在等により受験者本人の意志が確認できない場合には、「追加合格者」にはなりませんので、あらかじめ受験者本人が、「一般選抜学生募集要項」（本要項）を用意して待機してください。

この追加合格候補者への連絡期間は令和6年3月28日（木）から31日（日）までですが、全ての追加合格者の入学手続が完了次第終了し、本学ホームページにその旨を掲載します。

(3) 追加合格者の入学手続

令和6年3月28日（木）の14時以降、原則として令和6年3月31日（日）まで（受付時間：9時から17時まで）の期間中に、本学へ直接来学して入学手続を行ってください。なお、入学手続の詳細については、入学の意志が確認できた際に、併せて案内します。

(注) 追加合格候補者は発表しません。

また、追加合格についての電話等による照会には、一切応じません。

11. 入学手続等

合格者は、入学時納付金を納付の上、下記の入学手続期間中に、入学手続を完了してください。この入学手続期間中に入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。入学手続の詳細については、合格通知書とともに改めて通知します。

(注) 1つの国公立大学・学部に入学者を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入学者をすることはできませんので注意してください（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く）。また、一般選抜前期日程に合格し、令和6年3月15日（金）までに入学手続を行った場合は、本学を含む他の国公立大学の一般選抜後期日程を受験しても合格者にはなりません。

(1) 入学手続期間

選抜日程	入学手続期間
前期日程	令和6年3月8日（金）～15日（金）
後期日程	令和6年3月22日（金）～27日（水）

(2) 入学手続方法及び必要書類等

① 入学手続方法

入学手続は、原則として郵送（書留・速達郵便）により、入学手続期間内必着で行ってください。

ただし、やむを得ない理由により郵送できない場合は、前期日程及び後期日程とも、それぞれ入学手続期間最終日に限り、入学手続窓口において、9時から17時まで（時間厳守）持参による手続きを受け付けます。

②必要書類

必要書類	摘要
大学入学共通テスト受験票	入学手続完了後に検印を押して返却します。
茨城大学入学者選抜受験票	入学手続完了後に返却します。 注) 本学の「前期日程」及び「後期日程」の両方に出願した者は、合格した日程の受験票です。
その他の提出書類	合格通知書と併せて、別途通知します。

〈入学手続についての問い合わせ及び手続書類提出先〉

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 電話 029-228-8414
茨城大学共通教育センター(入学手続担当)

(3) 納付金

①入学料

◇納入金額

282,000円

※入学料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料が適用されます。

◇納入方法

入学料は、合格通知書とともに送付する払込用紙により金融機関窓口にて、入学手続期間中に納入してください。

金融機関から振替払込受付証明書を受け取り、上記手続書類に同封してください。

郵便局、銀行、信用金庫、農協など全国の金融機関窓口で納入できます。(ATMは使用しないでください)

②その他の納付金

①の入学料と併せて、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険(Aコース)、茨城大学教育研究助成会費、学部後援会費、学部同窓会費のほか、1年次に2回と3年次に1回の3回実施されるTOEIC IPテストの受験経費など、より良い学修の実施に充てるための経費を納入いただく必要があります。(※学部後援会費、学部同窓会費については、地域未来共創学環を除きます。)

詳細につきましては入学手続関係書類でお知らせします。

③授業料

◇納入金額

前期分 267,900円(年額 535,800円)

後期分 267,900円

※授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

◇納入方法

入学後に納入していただきます。

納入方法等詳細につきましては、入学手続関係書類でお知らせします。

〈入学料及び授業料の納入についての問い合わせ先〉

茨城大学財務部財務課経理グループ 電話 029-228-8561

(4) 学費の免除及び徴収猶予(延納・月割分納)

入学料については免除及び徴収猶予(延納)、また、授業料については免除及び徴収猶予(延納・月割分納)制度があります。

入学時に学費の免除及び徴収猶予の申請を行う場合、審査結果が通知されるまでの期間は学費の納入が猶予されます。具体的な手続きは入学手続関係書類でお知らせします。

①高等教育の修学支援新制度

国の高等教育の修学支援新制度により、日本学生支援機構の給付奨学金に採用された方は、入学料免除、授業料免除を受けることができます。本制度については高等学校等在学時に予約申請されることをお勧めします。

本制度の詳細は以下のホームページをご覧ください。

○国の施策「高等教育の修学支援新制度」(新制度)

文部科学省：https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/

○給付奨学金の制度概要

日本学生支援機構：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/>

②その他の学費免除・徴収猶予制度

本学の経済支援制度についての最新情報は、ホームページで公表しています。

○茨城大学ホームページ（経済支援関係）

<https://www.ibaraki.ac.jp/student/economicssupport/>

<学費免除，徴収猶予についての問い合わせ先>

茨城大学学生支援センター 電話 029-228-8059・8067

(5) 奨学金について

①日本学生支援機構奨学金

返還を要しない「給付奨学金」及び、返還を要する貸与奨学金の「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があります。本制度については高等学校等在学時に予約申請されることをお勧めします。

なお、日本学生支援機構の給付奨学金に採用された場合、学費免除の支援が受けられることとなります。奨学生に採用されるには、日本学生支援機構で定める、収入等の基準や、学力基準を満たしている必要があります。詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

日本学生支援機構ホームページ：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

②地方公共団体及び公益法人等の奨学金

日本学生支援機構の他にも、地方公共団体や公益法人等の奨学団体が行っている奨学金制度があります。申請にあたっては、奨学団体ごとに定める募集資格等を満たしている必要があります。

本学に案内のあった募集内容については、本学ホームページ及び教務情報ポータルシステムを利用し、随時在学生向けに案内しています。

○茨城大学ホームページ（経済支援関係）

<https://www.ibaraki.ac.jp/student/economicssupport/>

<各種奨学金についての問い合わせ先>

茨城大学学生支援センター 電話 029-228-8059・8067

(6) 学生寮への入寮の申請手続

学生寮の入寮者は、家計状況等を総合的に勘案して選考を行い、決定します。入寮希望者は、本学ホームページ内「学生寮」のページに掲載される申請手続きの案内を参照してください。（令和6年1月に掲載予定）

【QRコード】

茨城大学ホームページ内「学生寮」のページ

<https://www.ibaraki.ac.jp/student/facility/dormitory/>



12. 情報提供

(1) 入学者選抜個人成績の開示

令和6年度一般選抜の個人成績を、試験終了後、受験者本人に限って開示します。

1. 申請期間等 令和6年5月1日(水)～5月9日(木)
※郵送の場合は5月9日(木)消印有効
※持参の場合の受付は平日の9時から12時まで及び13時から17時までに限ります。
2. 申請者 受験者本人に限ります。
3. 申請方法 次の書類を下記4.の申請先に郵送で提出するか、又は持参してください。
 - ①茨城大学入学者選抜情報開示申請書
本学ホームページに掲載する他、入学課窓口で配布します。
 - ②本学の受験票の写し
 - ③大学入学共通テストの受験票の写し
 - ④返信用封筒(長形3号/120mm×235mm)
申請者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、444円分(簡易書留料金)の切手を貼り付けてください。ただし、郵便料金の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。
※電話での申し込みは受け付けません。
4. 申請先 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学学務部入学課入学試験グループ
電話 029-228-8064・8066
5. 開示方法 申請者あてに、簡易書留郵便で6月上旬に発送します。
6. 開示内容
 - 【得点】大学入学共通テストと個別学力検査等のそれぞれの得点の合計及び総得点を開示します。
 - 【評価】合格者には、A・B・Cのランクにより開示します。
不合格者には、段階別(5段階程度)に区分して開示します。
ただし、不合格者が5人未満の場合は開示しません。
 - 【調査書】開示しません。
7. その他 順位については開示しません。

(2) その他の情報提供について

当該年度の入学者選抜の志願者数、受験者数及び合格者数等の情報については、本学ホームページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/situation/>】で随時提供します。

また、前年度の選抜結果及び過去の入試問題、一般選抜合格者成績情報(合格者の最高点・平均点・最低点)についても、本学ホームページに掲載しています。

13. 欠員補充第2次募集

入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を実施することがあります。欠員補充第2次募集を実施する場合は、本学ホームページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/>】において、「欠員補充第2次募集要項」を公表します。

14. 個人情報の取扱い

本学は、「個人情報の保護に関する法律」及び本学が定める「国立大学法人茨城大学個人情報の保護及び管理規程」等に基づき、個人情報の適正な管理と保護を行っています。

出願及び入学手続時に取得する受験者・入学志願者の氏名、生年月日、性別、試験成績その他の個人情報等は次の目的に利用します。

- ・ 入学者選抜並びに合格者発表及び入学手続に関する業務
- ・ 合格者の入学後の教務（学籍管理、修学指導等）、学生支援（健康管理、奨学金、授業料免除、就職支援等）、授業料等に関する業務
- ・ 入学者選抜方法等の改善や広報のための調査、分析及び研究
- ・ 個人が特定できない形での統計データへの加工及び利用

また、「個人情報の保護に関する法律」第27条第1項各号に規定された場合を除いて、本人の同意を得ることなく個人情報の第三者への提供は行いません。ただし、国公立大学の分離・分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、本学の受験番号、志望学部等の名称、高等学校名、氏名、性別及び生年月日、合否並びに入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

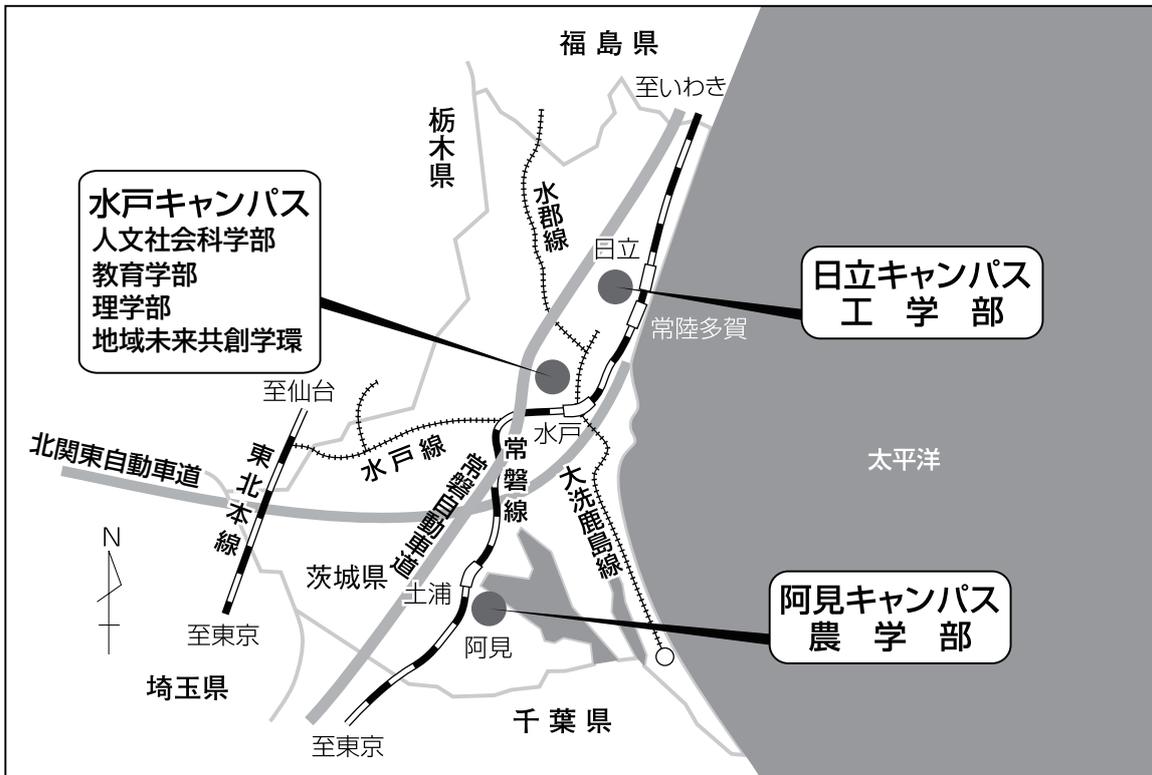
15. 不正行為・迷惑行為

カンニングなどの不正行為や他の受験者への迷惑行為を行った場合は、試験の公正・公平性を損なう行為となるため、受験を取りやめさせ、すべての試験の成績を無効とすることがあります。また、本学が特に悪質だと判断した場合は警察に被害届を提出するなど、厳正に対処します。

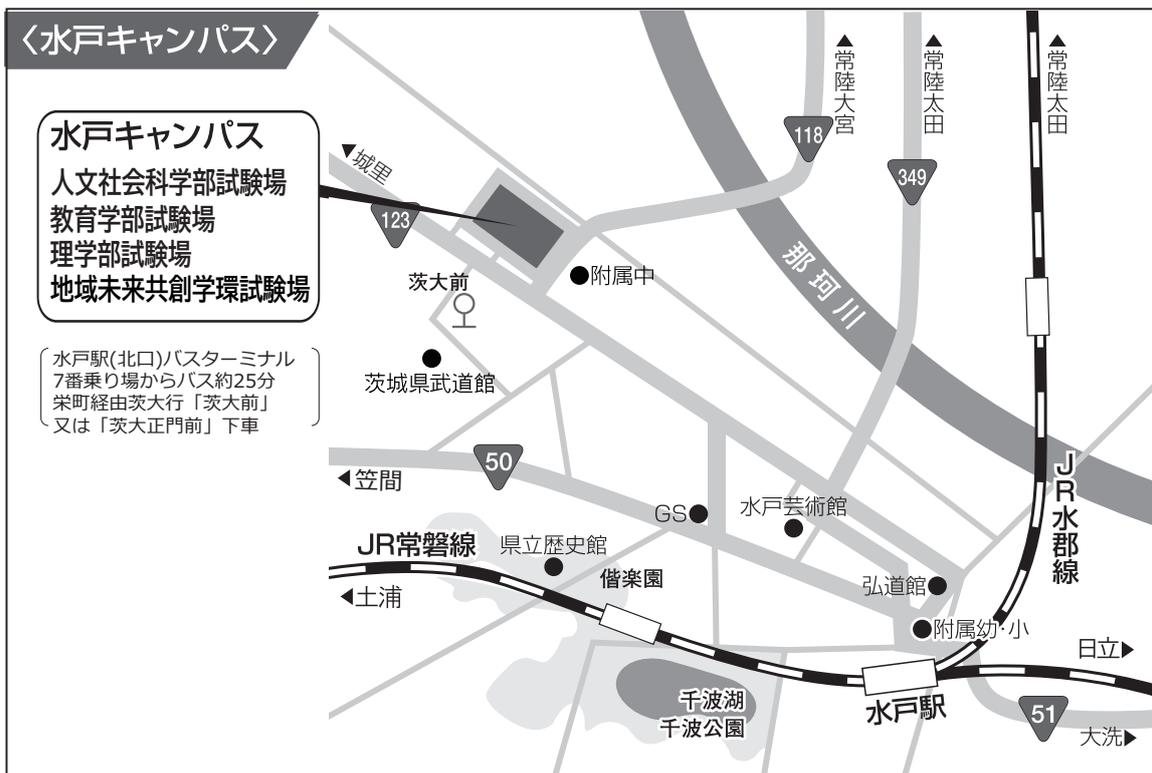
(このページは空白ページです)

◎ 試験場等案内図

(1) 本学案内図



(2) 試験場案内図





2024

令和6年度茨城大学一般選抜
実技資料自己作成証明書
 <教育学部 美術選修 前期日程>

受験番号	※
------	---

志願課程・コース等	教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育系 美術選修	提出物	・実技資料3点 (デッサン作品2点及び 美術作品1点)
ふりがな		出身 学校名	学校
志願者氏名			
実技資料3点の提出方法	①該当する提出方法に☑を付してください。 <input type="checkbox"/> 3点を1口にまとめて送付 <input type="checkbox"/> 3点を2口に分けて送付 <input type="checkbox"/> 3点を3口に分けて送付 ②美術作品1点を写真で提出する場合は、平面作品か立体作品かいずれかに☑を付してください。 <input type="checkbox"/> 平面作品(写真2枚) <input type="checkbox"/> 立体作品(写真4枚)		
出身学校 確認欄	「実技資料3点」は、本人が作成したものであることを確認しました。 令和 年 月 日 学校名等 確認者氏名 印 [志願者との関係]		

- (注) 1. ※印の欄は記入しないでください。
 2. [志願者との関係]欄は具体的に記入してください。
 (例) 美術担当教員, 美術部顧問, クラス担任など
 3. 下票に志願者氏名を記入のうえ切り取り, 各作品の裏面等にテープ等で貼り付けしてください。

※切り取り線

デッサン作品①	
志願者氏名	

デッサン作品②	
志願者氏名	

美術作品	
志願者氏名	

「実技資料自己作成証明書」記入要領及び「実技資料3点」注意事項

「実技資料自己作成証明書」は、出身学校の担当者（例えば、美術担当教員、美術部顧問、クラス担任など）が、この用紙を用いて、「実技資料3点（デッサン作品2点、美術作品1点）」について、志願者本人が作成したことを確認し、「実技資料自己作成証明書」の確認欄へ記入・押印してください。ただし、やむをえない事情で出身学校の担当者が確認できない場合は、出身学校の担当者の記入・押印の代わりに、志願者本人が当該理由を明記した書類（任意様式）を作成し添付してください。

作成した「実技資料自己作成証明書」は、出願書類に同封してください。

「実技資料3点（デッサン作品2点、美術作品1点）」について

「実技資料3点」は、出願書類とは別に送付してください（美術作品を写真で提出する場合は、デッサン作品に美術作品の写真と同封）。その際、「実技資料自己作成証明書」の下部に記載されている氏名票に志願者氏名を記入のうえ切り取り、各作品の裏面等にテープ等で貼り付けしてください。また、梱包等の見えやすい位置に「教育学部美術選修実技資料3点」及び「氏名」を朱書きしてください。なお、提出期限及び提出先は出願書類と同様となります。

「実技資料3点」のデッサン作品は、モチーフ等の描画対象は問いません。また、作品サイズや紙・描画材等は指定しませんが、梱包して送付、移動が可能なものに限りします。

「実技資料3点」の美術作品は、絵画、彫刻、工芸またはデザインのいずれかの領域に属する成果物とします。なお、作品のサイズや重さ及び素材の制限はありませんが、梱包して送付、移動が可能なものに限りします。

※美術作品についての特例事項

梱包した状態で送付や移動が困難な作品、送付や移動の際に破損の恐れのある作品、または安全管理及び保健衛生上支障のある作品の場合は、大きさを問わずA4サイズの写真で提出してください。

平面作品の場合は、全体と部分（ディテール）の2枚、立体作品の場合は、全体3方向（正面と他の2方向）と部分（ディテール）の4枚を提出してください。

なお、提出された「実技資料3点」については、試験終了後、本人あてに後日着払いで返却します。

※「実技資料」に関する質問は、茨城大学教育学部入学試験係（電話 029-228-8203）に問い合わせてください。

令和6年度
茨城大学一般選抜
運動特技に関する調書

2024

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース
保健体育教育系 保健体育選修

※印の欄は、記入しないでください。

※	※	※	受験番号	※
ふりがな		性別	公立 ・ 私立	
志願者氏名		男・女	出身学校名	学校
生年月日	昭和 平成	年 月 日生		
特技とする運動種目				
特技とする運動種目の成績・記録				
競技会・発表会名	年度	主催者 (開催地)	競技・発表の成績・記録	
		()		
記入者氏名				印
〔志願者との関係〕				〕
上記記載事項並びに添付の証明資料等については、事実及び原本に相違ないことを証明する。				
令和 年 月 日				
学 校 名				
学校長氏名				印

(注) 記入にあたっては、別紙「『運動特技に関する調書』記入要領」を参照してください。

「運動特技に関する調書」記入要領

この調書は、以下の要領に従って、志願者の出身学校の担当者（保健体育主任又は担当顧問教員等の指導的な立場にある者）が志願者本人の運動特技について、責任をもって記入してください。ただし、やむをえず出身学校の担当者に調書を記入してもらえない場合は、志願者本人が調書を記入してもかまいません。その場合、志願者本人が出身学校の担当者に調書を記入してもらえない理由を明記した書類（任意様式）を作成の上、添付してください。

1. 「特技とする運動種目」の欄は、一種目とします。以下の（例）に倣い具体的に記入してください。
（例）陸上競技（走幅跳）、水泳（自由形・短距離）、バレーボール（セッター）、サッカー（FW）、剣道（二段）等
2. 「特技とする運動種目の成績・記録」の欄は、高等学校又は中等教育学校後期課程**在学中**に出場した大会や発表会等（以下、大会等）において、**大会等の規模や難易度等も含めて志願者本人が判断する最も良い成績**を記入してください。舞踊など記録で表しにくい種目は、発表会や受賞名等を具体的に記入してください。提出する成績は、出身学校の部活動によるもの以外（クラブチームなど）も可能であり、大会等のレベルの制限はありません。
ここでの運動特技は志願者本人のプレーヤーとしての競技実績（*）を指し、マネージャーやアシスタントコーチといったサポートスタッフ等としての貢献は運動特技に含みません。

（*）団体競技などチームで行う活動の場合は、チームの競技実績に加え、チーム内における志願者本人の役割・実績等を「競技・発表の成績・記録」の欄へ具体的に記入してください。

また、「特技とする運動種目の成績・記録」を証明できる資料の写し（コピー；（注）参照）を出願書類と併せて必ず提出してください。資料の枚数に制限はありませんが、A4判の大きさに調整する、ステープラー（ホッチキス）で留める等、整理した上で提出してください。なお、提出した資料は一切返却しません。

（注）「特技とする運動種目の成績・記録」の欄に記入した成績・記録について、次の資料の写し（コピー）を提出してください。

①大会プログラム

大会名、主催者及び開催年月日など大会の概要がわかるもの。

②個人（チーム等）の大会等への出場や成績・記録等を証明する資料

志願者本人の氏名が記載されたスコアシート（公式記録用紙）又は雑誌・新聞・インターネットの記事・賞状など。チーム等の場合は、志願者本人が出場していることや役割等が分かる資料も追加してください。

- ※1 上記①、②の資料の写しを両方提出してください。資料が片方しかない場合は、その旨を提出する資料の余白に記入してください。
- ※2 上記の資料を提出する際は、その表紙、発行者、発行年月日及び当該記録に関するページを複写の上、提出してください。
- ※3 上記の資料が入手困難な場合は、別紙（任意様式）に、保健体育主任又は担当顧問教員等の指導的な立場にある者が、「運動特技に関する調書」に記載された成績等について、その試合等における活躍内容、得点経過及びその試合等における役割などをできるだけ詳細かつ客観的に記入してください。（別紙で提出する場合は、必ず志願者名、記入者名、志願者との関係を記入・押印してください。）

3. 記入者名の下に〔志願者との関係〕については、具体的に記入してください。
（例）保健体育主任、〇〇部顧問（部長）、クラス担任など。
4. 作成後、学校長が**厳封**して、志願者が提出する他の出願書類に同封してください。なお、特技とする運動種目の成績・記録を証明できる資料の写しは厳封しなくても構いません。

※「運動特技に関する調書」に関する質問は、茨城大学教育学部入学試験係（電話 029-228-8203）に問い合わせてください。

(このページは空白ページです)

<参考>各学部等入学試験系の電話番号

- ・人文社会科学部入学試験係 029-228-8106・8102
- ・教育学部入学試験係 029-228-8203
- ・理学部入学試験係 029-228-8518・8335
- ・工学部入学試験係 0294-38-5223
- ・農学部入学試験係 029-888-8519
- ・地域未来共創学環入学試験係 029-228-8562

※入学者選抜に関する各種問い合わせは、裏表紙に記載した電話番号を利用してください。

～注意～

[合格電報・アパート等の勧誘について]

試験当日に、本学周辺又は最寄り駅等において、本学職員を装い、合格電報やアパートの斡旋等の勧誘と称して個人情報を入力させ、受験者から金銭の收受を行っている業者等が見受けられます。これらの業者等は本学とは一切無関係であり、事故・トラブルが生じても本学は責任を負いませんので、十分に気をつけてください。

なお、合格者の受験番号は合格者発表日に本学ホームページに掲載され、どなたでも閲覧することができますので、本学が合格電報等を斡旋することは絶対にありません。

また、本学が試験当日に受験者に対し金銭の收受を行うことは絶対にありません。

[乗用車等による来学について]

試験当日に、乗用車等により来学されても、構内へは駐車できません。

近隣の路上、店舗、私有地への違法駐車は、交通渋滞等の原因となり、人身事故等が発生するなど、近隣の方々にご迷惑をおかけしますので、来学の際は、公共交通機関を利用してください。

入学者選抜に関する問い合わせ先

○茨城大学学務部 入学課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066
〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

その他の問い合わせ先

○学費の免除・徴収猶予について	電話	029-228-8067
○奨学金について	電話	029-228-8059
○学生寮について	電話	029-228-8060
○入学手続について	電話	029-228-8414
○教育学部実技検査等について	電話	029-228-8203
○工学部（日立キャンパス）	電話	0294-38-5223
○農学部（阿見キャンパス）	電話	029-888-8519

茨城大学ホームページ
<https://www.ibaraki.ac.jp/>

【QRコード】



パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

茨城大学携帯電話サイト
<https://daigakujc.jp/ibaraki/>

パソコン・携帯電話・スマートフォンからご覧いただけます。

両サイトとも、資料請求方法・出願状況速報等の各種選抜情報が閲覧できます。

(注) 問い合わせは志願者本人が行ってください。
受付時間：9時00分～17時00分（12時00分～13時00分，土・日曜日及び祝日を除く）

不測の事態が発生した場合の対応について

災害や感染症のまん延等の不測の事態が発生した場合は、出願期間や選抜日程、実施方法等に変更が生じることがあります。その際は、上記の本学ホームページによりお知らせしますので、出願・受験前には必ず確認してください。